婦選

十一月號

婦選獲得同盟發行

昭和二年一月一日創刊
昭和四年十一月一日發行

第三卷十一號

一部金貳拾錢

世界美術全集

―第二次豫約大募集―

永遠の至寶！

讀む全集から見る全集へ！ 此のモットーに出發して丁度滿二年！ 賞讃の雨下、激勵の殺注！ 世界的大歡呼の裡に早や二十四册まで刊行を進めて來ました。本質の價値が造本の善美が、價格の至廉が然らしめるのです。再募の要求秋の美術シーズンに入つて愈々繁く、此の熱烈なる全國的渇望に答ふべく、玆に本全集第二次豫約大募集の斷行を決しました。大方の贊助を祈る。

本全集一部あれば

○客間ではよき應接役を勤め、居間では家族みなの寵兒となる。

○學校では鑑賞敎育の絶好資料、圖書館では情操陶冶の第一書！

○各專門家には不可缺の參考書構想の源泉、研究の照明である。

締切 十一月五日

內容見本申込次第贈呈

會費（分拂）

甲（普通本）壹圓
乙（裝飾本）壹圓半
丙（帙入）貳圓

申込金 甲 壹圓 乙 壹圓半 丙 貳圓

全一時拂の割引

甲 參拾貳圓（四圓引）
乙 四拾八圓（六圓引）
丙 六拾四圓（八圓引）

申込金不要

送料每卷十八錢

東京麴町下六番町 **平凡社** 振替東京二九六三九

◇日本唯一の教育新聞！

教育週報

教育週報

◇新時代教育相の展開！

◆本紙は創刊後滿四ケ年余を經過し基礎確實となれる日本に唯一つある教育新聞であつて今や教育界にはなくてはならぬものとなり、全國多數の教育家の支持のもとに着々理想を實現しつゝある。即ち一週間に於ける教育界のニユースを正確迅速に報道すると共に之が批判をなし時々刻々に進む新時代に於ける教育の進路を示すものであるそこに展開するものは最も清新なる生ける教育相である

◆更に學術の研究、教育新思潮の紹介、教育文藝の掲載、評論、感想等紙面に横溢して、打てば響くが如く緊張せる氣魄を持つてゐる、一方趣味ある讀物は教育界の全野に亘る人物の紹介たる「教育人國記」は各府縣別に連載されて異常なる興味を以て迎えられつゝある。其他「人物の片影」「隱れたる教育家」の連載、記者活躍の跡等必ずや教育人のよき慰安たらん

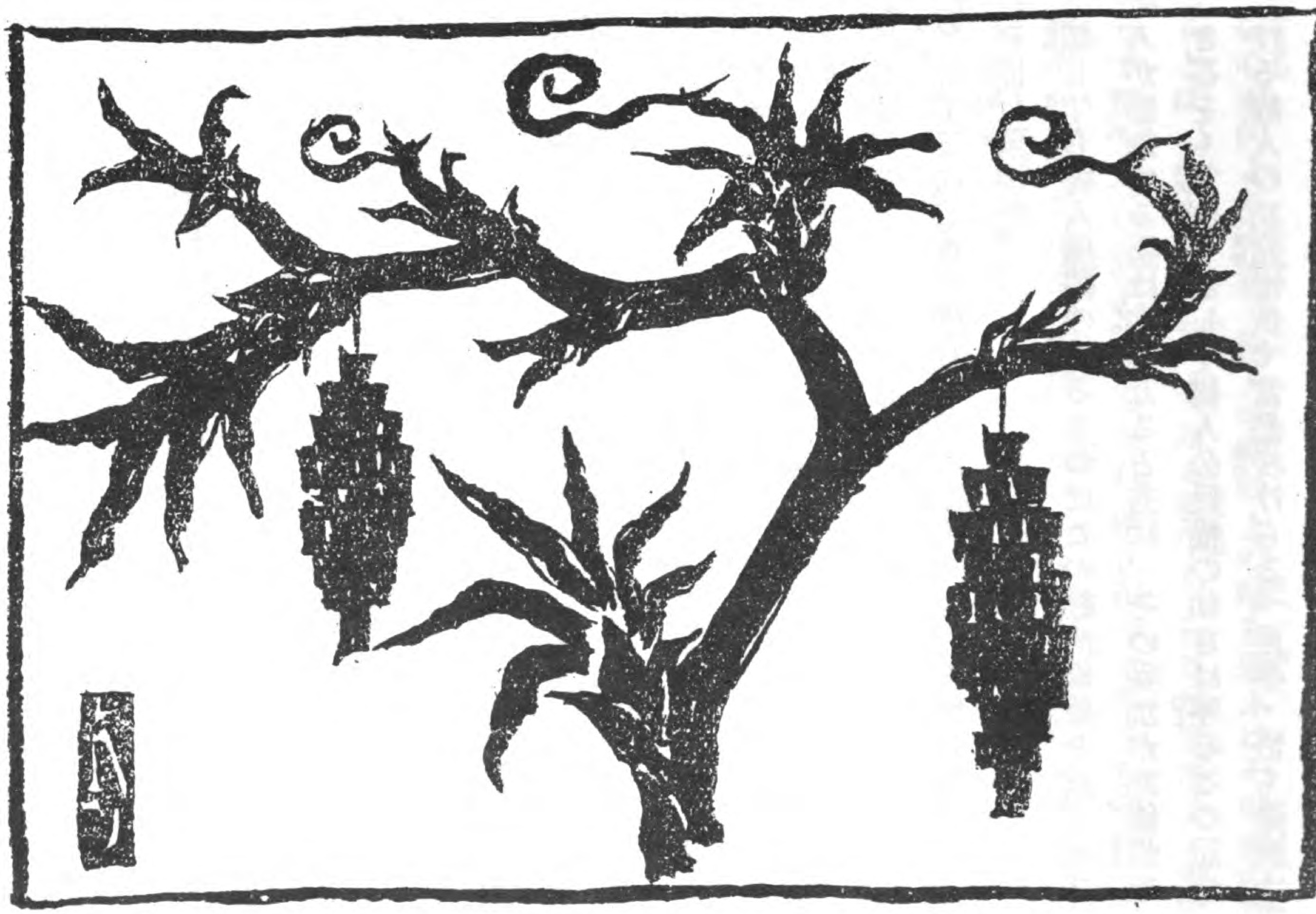
◆かくて本紙を讀むことによつて教育界の全野を見渡され、最新なる知識と輕快にして上品なる趣味を攝取し得る。これ最も合理的緊縮ならずや。願はくば即刻讀者となられんことを。

見本三週分 無代贈呈

讀者たらんとする人はその旨葉書で申込まれよ。見本として三週分無代贈呈し代金は後より請求込す

東京西巣鴨町二四〇一 **教育週報社**
振替東京七一五九三番・電話大塚五九二番

婦選 第三巻第十一號 十一月號目次



新『婦選』に題す（巻頭言）

新『婦選』の語は、當然舊『婦選』の存在を意味する。

舊『婦選』とは昭和二年一月より毎月一回發行されて、ついこの先月の十月まで續いて來た婦選獲得同盟の機關誌『婦選』のことである。

機關誌『婦選』は三年の間、同盟の運動の報導機關として、將又婦人の政治敎育機關としてその小さき體に負ひ餘る使命を、全力的に遂行し來つた。

しかも機關誌『婦選』はついに舊き革袋たらざるを得ない日に到達した。

その日こそ新『婦選』誕生の日であつた。今玆に『婦選』は衣を改めて更生する。即ち玆に見ゆるところの『婦選』こそはその新生の『婦選』なのである。

『婦選』は今や婦選獲得同盟の機關誌を出でゝ一個の婦人政治雜誌となつた。豊富といふのではないが、發刊當初よりの責任である婦人政治敎育を稍徹底せしむべき餘裕を頁の上にも見出し得る事が出來た。

この上は、同志の支持のみが『婦選』を成長せしめる筈である人の子の恙なき成長を祈る七五三の行はれるこの月に、われらも亦この新『婦選』を世に送り、その遙かなる行手を祈る。

主張

政府はまづ婦選を與ふべし

□

現内閣の教化總動員と公私經濟緊縮運動とは豫定の如く全國に亙つて着々と行はれつゝあり、そのプログラムの一に明記せられたる婦人へのよびかけも亦全國的に行はれつゝある
我等は現内閣が成立せる瞬間より政府は速かに婦人に政治的自由を與へよと論じ特に消費節約の運動に婦人を參加せしむる爲には、まづ婦人公民權を實施すべきが順序なる事を屢々說き來つた。

同時に婦人團體及び婦人に對しては徒らに政府の勸說に動かされず、婦人は獨自の確乎たる立場を持して、國家的動員に參加する前にまづ權利を要求獲得せよ、と警告を發し、反省を促し來つた。

然し乍ら婦人團體のあるものはこの經濟國難を救ふ戰ひに婦人が參加する事は當然なると共に、その參加が無條件なるべき事をも當然となし、婦人公民權の如きは寧ろこの戰ひに於ける婦人の功績に依て當然授けらるべき事、恰も歐洲大戰に於て婦人が國家の危急を援けたる功績により英國婦選が招來されたるが如しとなす者さへ在り、政府のよびかけに應ずる婦人團體は漸く多く、政府の計劃は將に當れるの觀があつた。

□

所が政府は突如として、經濟難局打開の一策として、明年一月より官吏の俸給一割減を實行する旨の發表をなした。即ち年俸千二百圓以上の高等官及月俸百圓以上の判任官は平均一割の減俸に遭遇したのである。而してこれより得る約七百萬圓を以て現内閣は民政黨年來の主張なる義務教育費增額に充つべしとの噂も傳はつた。

反對の聲はまづ司法部内に起り、鐵道省に及び、拓務も亦動かんとした、輿論も等しくこれを支持した。此の時に當りさきの多くの婦人團體は如何に處したであらうか。我等は二三をのぞく他が殆ど聲をのみて默然たりしを知る。

□

減俸問題は將に現内閣が馬脚を現はしたるのみ。即ち婦人の立場よりいへば消費節約の御手傳はお手傳でまかり出で、手持手辨當で働きつゝいつの間にか家の米櫃を空つぽにされた譯なり、今日の世の中、誰しも自分のあごの下の干上らぬ

御要心が何より大切。他人の頭の上の蠅を逐ふはその次の事なりとは、女もよくは知つてゐる筈乍ら、そこがまだ／＼世間知らずにて、つい調子よく頼まれ、嬉しがつてうちを空けてゐる間に、自家では空の飯櫃を抱いて子供が火の様に泣き出したといふ始末である。

もしそれ、手傳ひを頼んだ人が米櫃をからにしたのだと云つたらどんなものか、即ち緊縮を叫んで自ら婦人團體の前に罷り出で、節約を頼み入る井上藏相その人が減俸案の主唱者である事が明かになつた時、婦人團體の面々は、子供の手前夫の手前はどんなものであらうか。

□

國家財政の立直し結構、金解禁結構、さり乍ら節約といふものは三度の御飯を二度にする樣な消極的なものであつてはならない筈である。頼まれずともつとめられるだけつとめて居る連中から絞り出さずとも、世の中にはまだ／＼樂な連中がある筈、行政整理をするもよし、稅制整理をするもよし、七百萬圓やそこらの金は、もそつと大金持あたりから吐き出させる事も出來れば、軍縮から浮かせる事も出來やう。

何も減俸にぶつからずとも、こゝらの道理を今少しわきまへ、政治のからくりなども婦人が知つて居らないでは心細い事限りなし、只無暗におだてられ、お前でなくては出來ぬなどゝいはれて嬉しがり、何でもいたしますといふ譯で飛び出して了ふ事は、今度に限らず大禁物なり。

□

政府にしても、眞に婦人を認め、婦人の力によらうと思ふなら、その實行方法などにも今一段の考慮があるべき筈ではなからうか。全國各地の府縣市町村に行はれて居る婦人團體へのよびかけは將によびかけに止まり、進んで婦人團體と連絡を執り、婦人の組織されたる力を利用するまでには、殆ど到らないものゝ如くに見える。

婦人團體側の態度も亦散漫にしてよく組織力を用ひ、婦人の力にて斯く／＼の事を成し遂げたりといふ所まで到達せんとして居るのは稀である。

勿論、政府の企圖せる國家總動員、公私經濟緊縮を根本より反對排斥する人々には以上の批判は全く無意味のものであるが、我等は、國民精神の作興、國家經濟の立直しが正しき意味に於て行はるゝ事は贊成であるが故に、これが是正の必要を認め此稿を認むる所以である。

政府は一日も早く如上を反省し、速かに婦人公民權を初め全て婦人の政治的自由を解放し、以て眞の婦人の力を用ひてこの國難打開の任務の一端を遂行せしめる責任を自覺せよ。

公開狀

久布白落實　河崎なつ
坂本眞琴　市川房枝

(一) 濱口首相に呈す

婦選獲得同盟總務理事　久布白落實

一

我等國民の半數を形成する婦人の立場よりして、現内閣及び其首相に對し、我等の感謝と、又當然儼存する要求とを表示する事を免されたい。

感謝の最も大なるものが二つ在る。一つは現内閣に於ては、首相を始め全閣員中、妾を有する者なしとの責任ある言明を得し事である。自分は政友會に對して怨恨はない、否むしろ其内の幾多の人々には個人的敬意をも惜しまない。然し黨として立つ時に、其總裁たる人に、又其閣員の首相たる人に、其事情の如何に關はらず、公然人倫の破壞たる妾の存在と其關係とを公認して、恥づることなき態度は、天下の公黨として免すべきでない、又將來の内閣として斷じて免すべきでない事と思ふ。逝きし人を責むるのではない、然しそれをしも忍ばねばならなかつた時代の政友會其もの丶腑甲斐なさに對し恥づるのである。又それをしも如何



婦人界片々

×

長月三十日、第三皇女殿下御誕生。六日御命名、孝宮和子内親王と申上ぐ。きはめて御健か。

×

光榮のお乳人、奥野智惠子、竹村玉惠の二夫人奉仕す。

×

東京女高師教授理學士黒田ちか女史、積年の「紅」の研究酬ひられて理博授與と決定。さきに安井この女史あり、今又黒田女史あり、我國科學界の名花二輪、香益々高かれと祈る。

×

うれしい噂今一つ、女子醫專出身の西村庚子女史、帝大醫學部に聽器研究に刻苦八年醫博論文提出、目下審査中、近く三十才の女醫學博士生れんとす。

×

日本を心のふるさと丶して廿五年の思出をあとに歸國する動物愛護のバーネット夫

とも爲し得なかつた我等國民の不甲斐なさに對し自ら恥づるのである。この點に於て我等日本婦人として現内閣首相其人に滿腔の感謝を捧呈する。

第二には緊縮の實行である。國家の財政の建直しに際し、首相其人の眞摯な態度に感謝する。待合政治の廢止と云ひ、自動車の儉約と云ひ、大童の緊縮宣傳と云ひ、六千萬の國民が上下擧つて、豫算超過の生活を爲しつゝある恐る可き經濟的破滅の潮流を、身をもつて防ぎ止めんとする努力である。否其潮流を逆轉し轉換し、好轉して、金解禁も斷行し、外債も漸次償還して、國家をして、對内對外いづれに於ても安定の基礎の上に立たしめんとの眞劍なる努力である。我等は一千二百萬軒の個々の家庭の主婦として、この國家の親父役として、身を打ち込んで苦勞する我等の首相に對して滿腔の感謝と共に、其健康の守られん事を祈らざるを得ない。又其閣僚諸彥の健康を祈らざるを得ない。

二

要求も亦二つである。第一は政治の内に、否我國の法律の内に人倫の大道を認めて欲しい。即ち賣淫公認制度を徹廢して頂きたい、即ち明治卅三年發布の内務省令、娼妓取締規則なるものを、我國の法律中より全然削除する事を願ひ度い。この第一項には云ふ。

『女子滿十八歳ならざれば娼妓たる事を得ず』と、即ち我國の女子は滿十八歳になれば合法的に娼妓たり得る明示である。この一項の存在する限り我國の青年女子は、親思ひの又兄思ひの我國青年女子は、生活の壓迫に直面する時、開きたる門

人。米人であり乍ら排日移民法の成立に憤慨して故國を去り、ジユネーヴでなくなると、日本の土に歸りたいと遺骨となつて來朝した「親日の母」シドモア女史。

×

大臣でも牢屋へ行くの？と聞いた子供。賣勳ごつこが流行り出した小學校。政治家を父にもつのはいやとは女學生の言分。これ昭和の大疑獄の挿話。

×

避暑地に網を張つた、不良學生どころか自稱帝大教授令息實は理髮職人、銀行頭取令息實は煉瓦職人などの爪牙にかかつた良家名門の子女續出、名士の息と親が氣を許し婚約さへ結んだのがあつたとは恐いのは親か娘か。

×

警視廳が淺草公園で學校をサボツて映畫見物にくる學生を檢擧した上、父兄を呼んで引渡したら自分の子に限つてそんな事はないと受つけず僞造の成績表や出席簿をつきつけられて初めて我子を叱りつけるさわぎ、信じすぎ愛しすぎ、眷められてゐる親の半分以上は母親だからやりきれない。

より出る小羊の如く、法律の承認の下に、彼の人畜の生活に落ちて行く、此時千百の修養講話は何の用も爲さぬ。法律は人民の保護即ち墻である、この墻は故意に破つて在る。この墻を繕つて欲しい。墻が在つても越えるものはあらう。然しそれは非合法的の墮落だ、少くとも國家は己れの手で己が娘を陷らす事にはならぬ。

この一項は、全女性への、侮辱だ、又男性への侮辱だ。現内閣は先づ法律の破れ目の繕を斷行せられん事を切望する。これは取りも直さず、我國の婦人を地平線上に立たせる事だ、穴に陷ちたる幾萬の同性を共足に立たしむる事だ。我等は人間としての要求を提出する前に、先づ人間で在る事を要求する。公娼制度の撤廢は我國六千萬の陛下の赤子を悉く共人間たる地位に復歸せしむる事だ。自分は日本婦人の名に於て、謹で現内閣首相に懇願する次第である。

第二の要求は婦人公民權、婦人參政權の認められん事である。井上大藏大臣は云はれる『あなた方は、十のものの九まで消費せられるのだ、あなた方の贅澤で四十億の金はもう失くなつて仕舞つた』と。この『あなた方』とは全婦人を指して居られる事と思ふ。今日まで日本婦人は、皆各自一個の家は預つた覺えが在る自分の家の經濟を立てる途は心得て居る。そして其暮しの内で、良人と子供にはせい／＼いゝものを食べさせ、見劣りのせぬ姿をさせ、自分は細くなり靑くなつても知らずに儉約することも心得て居る。昨今多少の例外は在るがそれはまだ例外の程度である事は大臣も認められるであらう。然し我々婦人は一切良人の事に口が出せない、それで一人前（月）十五圓平均の食費の中で、良人には一升二圓

×

緊縮政策が祟つて校舍の擴張が出來ず、宿なしの女生徒を出した學校がある。四國は德島の女子師範。

×

一萬五千圓を託兒所設置に投げ出した婦人がある。所は廣島縣、婦人の名は甲島やい女史。

×

東京市が漸く產兒調節問題を具體的に取り上げやうとするはお手柄。その矢先山形縣下に產兒制限村が發見された。南村山郡堀田村、村民の大部が會員組織で四人以上の子供ある婦人に限り、合法的な避姙實行。

×

歌の淡路に昭和の時代はこれもモダーンな婦人消防隊出現。消防手五十三名、組頭一名小頭四名。組頭には五十三のおばあさん逞しい采配をとる。

×

女の知事さんも出來た。但し支那のこと支那でも初めての紅一點、郭風鳴女史といふ妙齡の斷髮美人。

の酒も提供せねばならない、相當の遊蕩費なるものも、何とか支辨せねばならない。彼女は經濟は下手であらう、豫算生活を科學的にやつて行く頭も持ち合さないかも知れぬ、然し現今の彼女の地位で、この上何が絞り出せるであらう。

自分は多くの事を要求しない、然し少くとも女子に、其責任の範圍を、も少し廣くして貰ひたい、せめて其責任範圍を一萬二千の市町村丈けの廣さにでもして貰ひたい。然して臺所の經濟が、如何に國家に直接に影響するものであるかを、常平生から理解させてをいて貰ひ度い。婦人の消費額一ケ年九十億圓だと云ふ、政府の二倍も婦人が使ふと云ふ、成る程家々の消費、六千萬人の食費を月十五圓見當に見積つても九十億には登る。然し、今日まで我家の門から外を覗く事を免されなかつた我國の婦人は、この見えすいた事實すら誰れも氣が附かないで居た。婦人を一軒の家にのみとぢ込むる事の不利は、この一事でゞも大臣に御了解が出來た事と思ふ。然し過去は云ふも詮なき事である、我等は現在に活き、又將來に活きる。願くば現內閣諸彥、殊に其首相たる、濱口雄幸閣下に切望する、是非この內閣在職中に、我等に少くとも、公民たる資格を賦與せられ度い。我等は權利として要求すると云はない、然し我等の責任範圍の擴張として要求する。我等婦人の日常生活が直接國家の經濟に、又生活に斯くまでの影響を有するなれば、先づ我等に市町村の生活國家の生活なるものを公開して欲しい。其內容を秘して置いて其責任のみを別たれても、我等は其擔ぎ方に當惑する。小紙婦選が三ケ年の歩をつゞけ、其小さき姿を改めて新しき婦選誌として出づる時撫辭を連ねて我等の首相に微衷の在る處を披瀝した次第である。

×

日本の內務省もやうやく社會政策實際化には婦人方面委員が適當と見極めをつけたさうな。それにしては、東京市のそれは何といふ醜體。婦人は皆黨臭紛々の男子委員にふり代へられ、それを又一言もいはず自らが忙しくて止めたやうにしか言へぬとは。

×

米國にも緊縮的な新流行、背線美を見せる爲に背中から腰まで露出。以て布地が極端に節約とは、濱口首相以て如何となす。

×

萬國救世軍總司令官エバンゼリン・ブース女史近く來朝。これに先立ち日本の救世軍は山室少將の愛孃民子さんの歸朝によつて頓に光彩を添へた。

×

美術の秋、東臺に美事榮冠を射落す女性の數漸く多し。

×

節約宣傳の爲なら街頭に立つといふ婦人の多きに呆る。おかみはそれほど有りがたきものか。

(二) 安達内相に

治警五條全條の削除を要望します

坂本眞琴

『公民權と云ふ樣な半ばなものよりも、徹底的に全般的婦人參政權の獲得の爲にもすこし、有力有効な運動をされてはどうか、それは決して、至難事ではない我々も勿論贊成する所で、その機運は已に大に動き、要路當局の調査も進んでいる筈だ』

こう云ふ、一の逆襲的な、さうして運動者の鋭さを、最も有効に一先挫折する樣な、勸告を、私は過去に屢々、政府側の人達から聞かされました。政友會の少壯議員で、且つては私達の運動のよき指針となつてくれた人達が、政友會内閣となつて、官職の人となつた時、私達によくこう云ふたのでした。反對せずして、より以上を望めと、こう云ふ此勸告は現下の形勢に於ては婦人公民權運動者の氣先を折るには、一寸役立つ樣です。

さうして又當局としては一般參政權となれば、その調査に時を要すべき事、機運の更に熟するを待べき點等に就いては、何人も認むる所として、結局暫定的な婦選なるものを考慮外に置き得る點に於て、一石二鳥の辯明となります。之が婦人に政治結社加入の解禁、公民權となれば、最早調査と機運待望とかの理由をつけ



婦人サロン

高良富子醫博夫人とは誰だらうなんてそんな鈍い事じや此節の時代のテンポにはあひつこありませんね。女流心理學者で有名な和田富子女史の事ですよ。アラいつ結婚なすつたのなんていひつこなし、新聞といふものもある世の中、九州大學は神博士同門下のよしみで結ぶえにしも美しい新夫人の爲にこの秋の菊の盃はくむものですよ。一體女學者だから大抵オールドミスで終るものかと思つてゐた、なんて失禮な言分はさあしまつたり〳〵。

それにしても富子夫人がまだ和田女史の頃、一度某雜誌社の坐談會で、戀愛と結婚の話が出た時、さあその理想的戀愛を說いたわ〳〵、例の猛烈にハイスピードの雄辯で。でとにかく和田さんの辨證法的心理學でいへば「純粹に愛するものと愛する者の魂はよれ〳〵になつて上の方へのぼつてゆく」といふ事になつた、つまりそこで戀愛

るべく、餘りに事が小さくて、即刻にも、これを實施するに非ざれば、曾つての婦選運動の贊助者が當局者として起ち、其曾つての主張に忠實であるとは云ひ得ないでせう。それで、先づ、より大なるもので、小なる要望を押え、眞摯な世論となさざらんとする最も賢明な態度を自然に會得するのでせうと思ひます。

私は、過日聯合婦人會が、總理、大藏、內務、の三相に臨席を乞ふてそのお話を承つた節に、溫顔、絶えざる笑を湛え乍ら、最後迄居殘つて、私達の爲に、懇切に應答して下さつた安達內相から、果然この、公民權よりも一般參政權と云ふ樣な巧妙なお話を承つた事を當然とは存じましたが然し一の遁辭として聞く外ありませんでした。ふなれな私共の質問に身をかはす位は安達さんとしては、實に何でもない事でせう。しかし私は安達內務大臣御夫妻ともに屢々面接して居りますが『選擧の神樣』と云ふ別名が連想させる樣な策謀的のみの方でない事を知つて居りますので、今玆に私は最も小さな一の問題を提示して、內務大臣安達さんの眞摯なる措置を期待する事にします。

治安警察法と云ふ一の獨立法が今尙嚴存して居る事は申上る迄もない事です。此法律位、改廢を必要とする個所の多いものは稀でせう。就中、即時全條を削除すべきは五條であると存じます。で私は、來る可き議會の劈頭に於て、政府案として一視平等に、五條を全部削除するの法案を提示されたいと希望してやみません。これが達成されますならば、婦人の政治結社加入だけは自由になります。次で私共婦人は相携えて政治的訓練を積み、次期又は次々期に議會に於て、公民權の獲得をなし遂げたい願望であります。

の昇華。が承知しないのは、並みゐる巳婚婦人の面々曰く宮崎燁子夫人、曰く新妻伊都子夫人、奥むめを夫人。半分ばかり共鳴したのが、吉屋信子女史。

所で、こんどは全くこれを實證的にゆくといふ譯故、みなさん何よりおめでたいではありませんか。

□　□　□

この愉快な女學者のお母さん、邦子母堂も亦とても愉快なオペサンです。一切洋裝で、すてきに光る眼を方々にくばり乍ら、婦人運動の諸種の會合にお出まし。辯舌となると、その氣骨のある點では、令嬢より二三段上手ですが、家庭ではやさしいお母さん、目白の研究室から富子女史のお歸りをまつて、あたゝかい御馳走をお並べになる。かつて九大に富子女史在りし日は、兩親揃つて彼地に、女史が東京に移れば又一家を擧げて。だが今度はまさか兩親揃つておむこさんの家にのりこめもしますまい。何れ又近日この御兩親の膝の上には富子第二世が載せられる運命も來る事でせう。

□　□　□

先達の首相官邸に於ける名流婦人の集り

時の內相への公開狀ともあらふものにこのちつぽけな只一つの提案と要望丈にとゞめる私に嘲笑を送る方があるかも知れません。しかし私は足下の小さい障害から先づ、取り除けて、その後、歩調を揃えて靜なれ共大なる潮の様な勢でひた押しに、押し進むが現下日本の實狀としては、最も策の得たものであらふ事を信じて、斯の如き眼前最も實現の可能性のある問題の解決を希望する次第です。全日本の選擧區の縮圖を頭に藏して莞爾たる安達先生に、私は一度眼を轉じて、治警の條章が日本女性をいかに差別的に取扱ひつゝあるかを、凝視して頂きたいと思ひます。安達先生、あなたの眞劍な息が一つかかれば、こんな問題は、たちどころに成しえられるのです。

（三）文相小橋一太氏に献ぐ

河崎なつ

內閣更迭以來の文部省の人事異動は、省內多年のわだかまりをさつぱりと切り拂つて、文相初め次官局長等揃ひも揃つて內務出の方々となりました。世に岡目八目ともいひますから、いはゞ素人の方々の文敎行政も、却つて淸新の氣を招來するものとして、とかく晦澁の評ある文部省の更生に此の際よい機緣だと皆人信じてゐます。由來肥後の國は烈々焰の如く果斷鐵の如き人材の輩出を以つて聞えて、

に座長を承つた塚本はま子夫人、座長就任の挨拶代りに、三十一文字の御披露に及ばれました。曰く

をみなわれ國をおもへば秋の雨に
しとゞぬれつゝつどひにつどふ

だが本當にぬれてつどつた人たちは、三百人の一割もなかつたとは官邸玄關子の觀察です。丸い玉川砂利に足駄の齒を噛み折られつゝテクで參集した人々は、スリッパもなしで立往生をさせられたも道理、自用車でおのりつけの方々は厚いフェルト草履も輕くをりたゝせ給ふわけでした。

□　□　□

この會合で、台閣諸公に文句をつけたのは羽仁もと子、久布白落實の二女史でした東北辯丸出しのズー〳〵で羽仁女史が、井上藏相が米國婦人の砂糖不買同盟を、あすこまでゆけばあられもない、といつた事をとつちめれば、久布白女史は、せめて市町村の市着位今までに任されてゐれば、今度のやうな國の財政についても、もう少し何か役にたてると辛辣な處を飛ばしました。

普段は羽仁女史にしても久布白女史にしても、相當もうお婆さん扱ひされてゐるの

ゐます。文相と共に機要の人々また熊本閥の人材で、とくに文相小橋さんは「果斷よく事を運ぶ」方だと聞いてゐます。文教の更生まことに刮目して俟つべきです。それにしても文相はどの仕事から着手しどの問題を形付けてゆかうとして居られるのでありませうか。私共は此好機に於いて小橋さんの力量に依據して、婦人の立場から左の諸項の解決を是非にと希ふものであります。

一、公民教育と實業教育

一昨年來文部省が、中等學校の制度改善に着手し出したことは全く時宜に適したことであります。就中「高等女學校」の方は委員會を設けて目下考究中のやうでありますが、文相小橋さんは是非ここに考慮を拂つて欲しいのです。

今春前文相勝田さんは「女學校卒業生は實際生活に役に立たぬ」と全國高等女學校長達を戒めました。これは「良妻賢母」教育から一歩も出なかつた三十年來の我國女子教育の缺陥を指摘し得たもので、更に婦人も社會人としての「公民教育」と經濟人としての「實業教育」への展開を暗示してゐるものではありますまいか。文相小橋さん、女子公民權の附與も近きにある今日、女學校では「公民科」は隨意科目になつてをり、從つて全女學校の三分の一しか取扱はれて居りません一方また、農業立國の日本で、世界の蠶業國である日本で、農蠶を課してゐる女學校は數ふる許りです。況んや婦人のための獨立の一農蠶學校もありません。その他商工業の諸方面も同樣です。女學校では實業科も亦隨意科目と規定されてゐるからです。生活を離れての教育はない筈です。にも關らず、今日の女學校は琉

に、こういふ段になると中々英姿颯爽大に立ちまさつてみえたさうです。全く之れも道理、並み居る面々は七十余才の棚橋絢子刀自を初めとして、本野母堂、鳩山母堂、嘉悦女史、跡見女史、何れもそろ〲孫の子が出來る御年頃の方々だつたさうで。

この棚橋刀自の節約が又大變なので、封筒の裏返したのばかりでも數萬枚あるさうです。この話を聞いた某雑誌記者、早速寫眞班同道、絶好の緊縮記事をとりに行つたさうですが、さてこの封筒に時間を加算して値をつけたらいくら位になる事でせうか。

□ □ □

婦選といへば市川さんを思ひ出すと誰でもいふその市川房枝さん、先頃例のガス問題で供託同盟員の事とて、ガス供給停止を喰つたところ、流石人氣者の市川さんだけあつて、各新聞にこの事が出るにも出たり九新聞。そこで早速翌日自宅に一會員よりとして小さい小包が舞ひ込みました。明けてみれば便利たきつけ、鉋屑に機械油をしませ蠟紙でひねつてある中々重寶なものです。又こんなもの夜店でみつけましたと、

球でも朝鮮でも信州でも大阪でも都鄙にかまはず、一列一體に「官吏夫人」の養成に腐心してゐるかのやうです。

文相小橋さん。近く改正せられようとしてゐる女學校制度には思ひ切つて女子教育の社會化を加味して下さい。即ち公民科を、實業科を、即ち法制經濟と農鑛商工業科を思ひきり加味して、土地に即した教育の出來るやうな制度にして下さい。

二、教育行政への婦人の參與

政友會内閣の行きがけの駄賃として三婦人督學官の任用のあつたことは、當時政變裡を往來してゐらした小橋さんには御氣付きでなかつたかも知れません。然し今日文相としての小橋さんは、省内の一室に毎金曜日に椅子を並べる三人の婦人督學官を御認めのことゝ思ひます。小橋さん！よしや行きがけの駄賃にもせよ、婦人督學官は日本で始めての事たのです。七年來その必要を叫び續けて來てのやつとの起用なのです。それほど婦人は教育行政には遠くの方に置かれてゐるのです。壹千を越える女學校長中、女子校長は公立にたつた一名、私立に（多くは創立者であるために）六十六名です。更に全國二萬五千有餘人の小學校長中、一人の女子校長もありません。「主席訓導」といふのさへたつた一人といつた有樣です御存じのやうに「教育行政への婦人の參與」は何等法令には禁止されてはありません。ただ久しき因習によつて男子にのみ與らせて來ただけのことです。

文相小橋さん！あなたの果斷によつて多年の經驗と獻身の純情とを有する識見ある女流教育家を公立女學校長に、小學校長に、縣、市、視學に早速起用なされ

ガソリンを入れゝば結構つよい火が出て、御茶もわかせるといふ便利火おこしを持つて來てくれる人もあるといふ譯です。何でもこの火には炭で難なく御飯のたけるお釜を上げやうといふ人もあるさうで、房枝女史あの人のよい顔を一層にこ／＼させてゐます。

この房枝女史、骨格なら風貌なら、眉間の皺まで全く人見絹枝女史に似てゐるとは専らの評判です。特に寫眞なら見分けがつかない由。ところがこの人見女史も御得意のスポーツならぬ婦人運動に並々ならぬ厚意をよせ、婦選の方は已に會員でもある上に、將來新聞社の仕事でも止めるおりが來たら、大に婦選の壇上にもたつさうです。一つ早く婦選獲得して了つて、こういふ變り種の世界的婦人を日本の議政壇上に送るのも愉快じやありませんか。

疑獄レヴュウ

A　よ　し　子

○ちよいと御覧よ。この人が何萬圓てお賓

て、我國女子敎育に新生面を流入なされてはいかがですか、敢へてこのことを御勸めします。

三、敎化總動員の有終

文相小橋さん！現内閣の緊縮政策を「冷し一方の治療法」にたとへて「今に病人は衰弱するぞ」と荐りに反對してゐる政黨もあるやうでありますが、私共はそれを信じません。從つて文部省としての今度の「敎化總動員」についても贊同を表する者であります。國民精神の作興と國民經濟活動の整調は結構なことであるからであります。

然し一方にまた私共は次のやうなことを慮ります。當事者等が餘程の考慮と方法をめぐらさないかぎりは反動團體が時を得がほの横行を助成しやすくなり易いことゝ、線香花火的な諸會合のために、經濟の整調よりもかへつて膨大なる諸費用の計上に終り易いことであります。そして結局國民は奔命に疲れ果てることであり、特に荐りに呼びかけられて已に立ち働きかけてゐる婦人がくたびれ儲けに終つては氣の毒のかぎりであります。

前社會敎育局長の下村さんは「恒久的の企てとして向後も身を以て局に當る」との決意を示されましたのは、いくらか私共に安心でありましたが、忽ち當路者の更迭があつて、關屋龍吉氏が之に代られました。そして未だに關屋さんの責任ある態度の言葉を聞きません。

文相小橋さん、此の際充分新任關屋さんと相圖られて、此の劃期的な大動員を有終あらしめることに呉れ〳〵も考慮せられることを、特に希んで擱筆します。

とつてあげられたんだつてさ。

△ふん寫眞で見るとえらさうな旦那ね。

○前大官つてえからえらいお役人さ。お給金もよかつたらうに、何に入用があつたものかね。

△みんな榮耀に使ふんだらう。そういやこの間つれて行かれたコックさん本當に可哀想だつたわ。

○全くさ。子供が死ぬか生きるかつていふ時に、藥代位の事、おかみさんも情無しだ。表沙汰にしないつたつてよかりさうなもんぢやないか。

B

□遂々收容されましたよ。

×おや本當ですね。新聞で騷いでもまさかと思つて居りましたが、かういふお手本を示されては全く風紀上面白くありません。

□而も家計を省みず遊興に費したといふぢやありませんか。そういへば大きな聲ではいはれませんが、こゝの校長さんにもをかしな噂があるさうですよ。男つて仕方がないものですね。

×あなたもお存じですか。私は生徒の立話

（四）

減俸問題に關聯して藏相に呈す

市川房枝

×

十月十六日に發表された官吏の減俸案は、それが突然であつただけに、又其の内容があまりに苛酷であつただけに、輿論の非常な反對に會ひ、官吏自身の中から强硬な反對が相次いで起るにいたつた。

この形勢に狼狽した政府は、二十二日にいたつて、遂に「輿論の趨向に鑑み」て撤回するのやむなきに到り、漸く事なきを得た。

この事は政府としては、勿論輕卒、不見識の誹を免れ難いが、然し面目論にとらはれず、輿論に聽從して撤回した事は、將來に好例をのこしたものとして、此際敢て深く追究することは差控えやう。

然しながら此機會に、當の責任者である井上藏相に對し一言私共の希望を述べて置き度いと思ふ。

×

最初政府が經費節約の一方法として、官吏の減俸を選んだ時、これが立案者であつた藏相の如きは、この問題が大いに輿論の喝采を博するものと考へ、甚だ得

を耳にしたのですが困つたものですね。

C

○お氣の毒な事になりました。

△本當にどうにかならなかつたんでございませうか。有勝の事だそうでございますのに。

○何しろ御手許がお苦しかつたさうですから、おやりにくかつたんださうで、同じ事でも○○さんなど、うまくなさつたなんて良人で申して居りますわ。

△それより××さん邊り、とてもひどいさうですがいつも御無事ですものね。併し今度は如何でせう。△△黨はこの前ひどくやられましたから、意趣返しにやるかもしれませんわ。

○大丈夫でございませう。あの方は反對黨にもすつかり手が廻つてゐるさうですもの。□□さんも一層やるなら大きくやつて、すつかり立廻りなされば、こんな事にはならなかつたかもしれないなんて、宅ぢや申してます。

D

▲漸くね。これでおしまひかしら。

○ぢやつまらないわ。所謂前大官のじゆず

意の色があつたやうである。然して百圓乃至百二十圓の中から一割節約することは容易であるとて、物價低落の事實をあげて頻りに説明してゐた。

所が、この豫想は見事はづれ藏相の面目玉がつぶれた上、その責任論まで惹起するにいたつた。これは誠にお氣の毒と申上げ度いが、然し單なる物價指數上にあらはれたる表面上の數字だけをみて、俸給者の實際の生計狀態をよく調査しなかつたことは、何といつても藏相の輕卒、おめでたさを表明したものといはなければならない。その上、社會政策的な立場から見て減俸といつた問題が如何なる反響を來すであらうかを豫見し得なかつたことは、爲政者としてその手腕を疑はれても致し方あるまい。

×

藏相が減俸案の提案をなした眞意については、別に、資本家をして勞働者の賃銀を低下させるために計劃されたのだといふものがある。

私共は、それが事實か否かは知らないが、然し、一千萬圓近い資本家達の所得税が未納のまゝ放置されてゐる事や、藏相の公債政策の結果、資本家の懐に數億圓の利益が這入つてゐる事等を聞くと、さうした意圖もありさうに思へる。

事實減俸によつて政府が節約し得る金額は、約八百萬圓に過ぎなかつた。日本の總豫算を十六億とすれば、僅にその五厘にしか相當してゐない。

若し藏相が眞に無産者の味方であるなら、最も弱者の地位にある俸給生活者の首をひねらなくとも所得税乃至は相續税の累進率を高くすることによつて、容易に資本家から吐き出させ得る筈である。

つなぎつていふ所までやつて貰はなくちや。

▲地方ぢや府議市議はじめ、凡そ○○系と名のつく者は生色なしだつて、現に××の未決は○○クラブの觀ありださうよ。

○代り合ひまして次には○○内閣が前大官及其一黨を一掃してくれると、いくらか政界も淸々するでせう。

▲そこでいよ／＼淸く明るい政治……

○だめ／＼。それには我々が加はらなくては、井戸換をしても井戸水つていふものはサラシ粉を入れなくては安心して飲めないものよ。

浴衣一枚

夢都子

政府の官吏減俸案は、果然輿論の大反對に出會つた。そして政府は、殊に井上藏相は無産大衆の怨の的になつた。

同案の發表を見た時、私の直ぐ思ひ出したのは先達つてどこやらで聞いた藏相の緊縮節約の講演だつた。藏相の話は徹頭徹尾聽衆たる婦人に向つて、〳それはブルと云ふ

×

藏相は、此頃頻りに、婦人會へ行つては、消費の節約を說いてゐる。消費經濟の九割迄は婦人の手にゆだねられてゐるのだから、婦人によびかけ、その協力を得やうとすることは結構である。

所が藏相は婦人團體の代表者をつかまへて小學校の生徒扱ひにしたり、殆ど節約の餘裕のない婦人達前ににおいて、四十二億圓をあなた方が贅澤をして消費してしまつたといつて說明してゐる。さうして又米國の女が砂糖の不買同盟をやるのは感心だが、日本の女はいけないといつたりしてゐる。

藏相の消費節約論をきいてゐると、私共はまるで、隣の家が破產しかけてゐるこれだけ借金がある、それはあなた方が贅澤をしたせいだといひがかりをつけられ、三度の御飯を二度にしろといはれてゐるやうな氣がする。

藏相のこの態度は、減俸案に對するのと頗る相似てゐる。

×

巷間傳ふる如く、藏相は紳士には違ひあるまい。兎に角可成りの誠意は認められるし、婦人に對しても自分で椅子を運んで進める程丁寧ではある。又前日銀總裁として、或は財界世話業者として、事金融に關しては可成り通じてゐるらしい。

然しそれだけで日本の實社會殊に國民の大多數を占めてゐる無產者の生活狀態乃至は半數を占めてゐる婦人の實狀は全然知らず、從つて理解がないらしい。

其の結果が、減俸問題でみそをつけたり、婦人側からさへ馬鹿にされる事になるのではあるまいか。藏相の一考を望む次第である。

よりは、むしろプロに近い婦人達だつたと思はれた）貴女方がぜいたくをしたから日本が貧乏した。だから私は今如何にして浴衣一枚儉約すべきかを教へて上げるのだ」と罪を全部婦人に負はせて、自分は少しもぜいたくはしなかつたやうな顏をしてゐたではないか。餘りの有難さに私は感涙に咽ばざるを得なかつた。

果せるかなこの內閣の賢夫人は、貧乏人の一枚しかない浴衣を取り上げて、金持の鼻息を伺はうとする天下の名案を考へついた。だがこの名案に隨喜して、簞笥にうなつてるちりめんの衣裳の中から浴衣を探し出して、國家危急の場合に献じようとする所謂名流婦人もあるのだから、政府もさう心配したものでもありませんね。



ふせん風

政府が婦人に向いて、敎化總動員に、公私經濟緊縮に「頼む、頼む」と手を合せてみせると「御尤もで、御尤もで」と感涙に咽んだのが婦人團體。その殊勝な御婦人方の襟首寒く吹くのが婦選風。

そら御覧なさい。頼むといふ口の下から減俸だ。つれないぞえと縋らうには、余り大臣と婦人の間が違すぎる。世の中はもうちつと辛いもの、單純なところが可愛らしいなどゝいはれて有張天になる事はいくら女でも餘り時代すぎる。

× ×

新聞辭令といふものがある。相當以前から存在してゐる。近頃、新聞決議といふものが流行る。何か問題があると、新聞社が太鼓を叩いて歩いて、ついうつかり口上をいはせて了ふ。「實にけしからんですよ。大に婦人團體に起つて貰はなくちや。決議はないんですか、聲明書は？何、當然しやうと思つてゐる、えゝ、まどろこしいな。早くやつて下さい。何なら僕かいて上げませうか。」かくてこゝにも單純で愛すべき婦人團體諸女史、感激して未だインクの乾かざる決議文を記者先生の手に奉る段取となるかゝせるのも生活手段なら、かく方も生活の爲か？（亥）

× ×

ちかごろ、小氣味よき男振りを上げたるは檢事。長いものには巻かれろ、などゝいふ了簡方、お國の爲に恥づべし。

龍は雲を得て天に昇る。好機を得て、弱き者の力を示すべし。

それとも、お國の爲に、金持ちの爲に、一つの梅干を、十日もしやぶる稽古でもするか。（丑）

× ×

この様な時に一生懸命に働けばだまつてゐてもお上から下さる――そこで感激の涙を流して緊縮お手傳ひ、敎化總動員、とむやみやたらに飛び出したがる、こんな女の多い間はわれ／＼のうだつも上らない。くれても儲けの邪魔はすまいと思へばこそ、「下さる」婦選だ。くれたが最後もう好きな勝手な眞似は出來なくなるぞとなれば何とでも難癖をつけるのが「お上」と言ふ代物だ「下さる」婦選なんか眞平御免、くれたがらぬものを「カクトク」する時にだけ婦選は生きる。「お國のために」など、安つぽくだまされぬ様御要心。（午）

× ×

戰ひ利あらんと欲すれば自重するを要す徒らにお調子に乗るを愼しむべし。判檢事總辭職の氣勢傳へらる。しつかりやつて欲しいと思ふだけ氣が揉める。（S）

× ×

先頃大阪で開かれた全關西婦人聯合會の婦人經濟大會席上で、東京側の婦選要求の緊急動議に、大阪の中村某女が、「今婦選をもらつてもダイヤモンドをたゞ貰ふやうなもので、どうして身につけていゝか困る。それより今のやうな時に大に働けば、お上から下さるはづだ」と反對したので、決議案はそれなりけりになつたさうだ。

もしこの意見が大阪の全關西支部を代表し又この意見で決議が否決になつたのだとすれば、全關西聯合婦人會は、今まで掲げてゐた婦選運動の看板を下さなくてはならぬ事になりはせぬか。（巳）

英國婦選運動の大立物
フォーセット夫人逝く

市川房枝



○

天才オーリヴ・シュライナーが南阿で死んでからもう十年にもなる。それから數年後にはエレン・ケーを失ひ、續いて華々しくはあつたが、亂暴極まる活躍をして世界を驚倒せしめたパンクハースト夫人も鬼籍に入り、思想上に於ても實際運動上に於ても、指導者の少い婦人界は、寂寥を感じて居る然るに今又英國に於ける婦人參政權運動の指導者でもあり且又歴史其者とも云へるフォーセット夫人の訃報に接して一層其感を深くする。

○

世人動もすれば、パンクハースト夫人とフォーセット夫人を並稱して英國婦選運動の双壁であるとか、二大指導者であつたかの樣に云ふが、これは英國婦選の歴史を知らないものの云ふ謬見である。

パンクハースト夫人は、千八百七十年代に現はれた米國のウードハル夫人に似た處がある。男子のみに許す參政權の不合理を堅く信じ、聰明なる頭腦と不撓不屈の信念を、熱烈火の如き雄辯を以て巧に婦人の心を捕へ、其目的を達する爲めに

は非常手段に訴へて亂暴狼籍を働き、以て數年間に亘り一世を聳動せしむるに至つたもので、當時問題にならなかつた婦選を現實の政治問題となさしめ、他方眠れる婦人を覺醒せしめ、遂に其解決を早めしむるに至つた功績は沒すべからざるものがある。だが長年月に亘る一大運動の指導者でない事はパンクハースト夫人の後半生がよく證明して居る。

○

これに反しフオーセツト夫人は、米國のスザン・アンソニー女史にも比すべく八十三年と云ふ長い全生涯の大部分を擧げて婦選運動の爲めに捧げて居る。二十歳の時ジヨン・モーレーやジヨン・スチユアートミルやチヤールス・キングスレーなどと席を同うして婦選の處女演説をなして以來、約六十年間此運動の第一線に立つて其搖籃時代から豫言者でもあり開拓者でもあり又偉大なる指導者でもあつた、先覺者ベツカー女史がなくなつてからは一層其活動振りが目覺しかつた。千八百九十七年から千九百十九年に至る廿三年間は英國婦選聯合會の會長であり、同年老齢の故を以て退隱してからも平等參政權獲得の爲めに直接間接盡力して居た。

○

ミリセント・フオーセツト夫人は米國紐育州セネカホールスに開かれた、あの有名な女權大會の前年である千八百四十七年六月十一日サフオークのアルドバロに呱々の聲を擧げた。夫人はニユーソン・ガーレツト判事の第七子で、長姉には有名なエリザベスがある。エリザベスは同じく婦人運動の先覺者であるエメリー・デヴイース女史と共に婦人問題の鍵は經濟的獨立であり、經濟的獨立には先づ職業の開放を得なければならぬと考へ、非常な決心を以て當時の男子の獨占であつた醫術を修學せんと志し、惡戰苦鬪遂に英國最初の醫師としての榮冠を得るに至つた。此妹にして此姉ありと云ふべきである。エリザベスは後アンダーソン氏と結婚したが、妹のミリセントと共に各種の婦人運動に關係し、千九百七年郡及び區會議員の選擧權を與へられるや、千九百八年英國最初の市長として滿場一致で郷里アルドバロ市長に選ばれた。

○

ミリセントは二十歳の時、キヤンブリツヂ大學經濟學教授ヘンリー・フオーセツト博士と結婚した。博士は廿五歳の時生れもつかぬ盲目となつたので、夫人内助の苦心は大變であつた。博士は後自由黨員として政界に入り、グラツドストー

ン内閣の遞相になり千八百八十年から八十四年迄其職にあつた。キャンブリッヂにあるフォーセット邸は當時自由主義者の中心となり、婦人の爲めに大學教育開放の策源地であつた夫人は博士及びセジウイック教授夫妻其他の人々と協力してニューンハム大學を創設しキャンブリッヂ大學の一部として婦人も男子と同樣に大學教育を受くるの道を開いた。

○

夫人は又ジョセフイン・バトラー夫人の公娼廢止運動並に花柳病取締法撤廢運動の熱心なる賛助者として活躍した。元來熱心な基督敎信者であつた爲めでもあらうが、婦人運動の一旗幟たる男女同一の道德律主張から來たものであるのは無論の事である。

○

著者としての夫人は又多大の收獲を殘して居る。二十三歳の時書いた經濟學初步は煩雜なる學理を要約して明晰に解りよく書かれたもので明治廿年代我國にも多數輸入され其恩惠に浴して居るものが甚だ多い。フォーセットの小經濟學と云ふのが即ちそれである。以上の外經濟學に關する著書もあり、ジャネット・ドンカスターと題する小說もあり、ヴイクトリヤ女皇傳及び佛國五名婦傳、婦人參政權(一九一二)、婦人の勝利(一九一九)、自叙傳(一九二四)及びターナー孃と共著のジョセフイン・バトラー傳(一九二八)などがある。

○

人としての夫人は、人類愛と婦人運動に關する燃ゆる樣な信念に包まれて居ても、頭腦明晰でよく人情に通じ、歷史の敎ふる處に眼を曝らして居るので常軌を逸する樣な事はなく常に溢るゝ樣な溫容と同情を以て人に接し、事を處するに情理並び行はるゝの風があつた。然もユーモアに富み、臨機應變、調和包擁力が裕であつた爲めに、自ら將に將たるの器であつた。それに學者間の交遊と其素質の爲めに、敎養から來た品位と、訓練から來た正確さは、常に婦選反對者側からでさへも畏敬されて居た。

○

以上述べた處によつて大體想像せらるゝ樣に夫人は、其環境に於て其素質に於てヴイクトリア朝の自由主義者であつたこれが爲めに夫人の後繼者として本年四月迄英國平等市民聯

合會(英國婦選聯合會の改稱)會長であつたエリーナー・ラスボーン孃が數年前「遺産なき家族」と云ふ本を著して勞働問題の解決は家族の數によつて勞銀を定むべきである事を主張して以來、英國朝野の大問題となり、聯合會が年次大會に於て其綱領の一項として採用する可否が問題となつた時に、夫人は子供の多い勞働者に余計の勞銀を與へるのは、世帶主の奮發を殺ぐ恐れがあると云ふ理由で絶對反對を唱へ、少數で破れた時に其機關雜誌ウーマンスリーダーの評議員會々長の職を辭してしまつた。此一事實を見ても夫人は徹頭徹尾奮式の自由主義者である事が解る。

○

晩年夫人は六十年奮鬪の目的であつた、男女平等の參政權獲得が實現し、十四名の婦人議員を下院に送り、其中の一人ボーンドフイールド孃は閣員に列し樞密院顧問官に任ぜられたを見て大に滿足した。然も最後に病氣になる三日前即ち七月十八日聯合會主催の此等十四婦人議員の祝賀會に列して祝辭を述べたのであつたが、七月廿一日に病を發し肺炎となり八月五日午前一時眠るが如く天國に旅立つた。享年八十三歳である。

○

これを要するにフオーセツト夫人は、シユライネル夫人やエレン・ケイやギルマン夫人などの樣に婦人運動に對し思想上寄與する處はなかつたけれども、實際運動上の指導者として偉大な功績を殘した。其點に於て米國のスサン・アンソニー女史に比適すべきものであらう。或は多少遜色を見るかも知れないが、アンソニー女史の如く九十年惡戰苦鬪の甲斐もなく、其實現を見るに至らずして長逝したるに比すれば、夫人の愛子ヒリツパ孃が、夫人の開拓したる大學を最優等の成績を以て卒業したるを目擊し且六十年間確信し其實現の爲めに努力して來た婦選が完全に施行せらるゝを見たのは何よりの幸福であつたと云はなければならぬ。遮莫夫人の如きは已になすべきをなしたる過去の人である。今後假すに二十年の壽を以てするも恐らく偉大なるヴイクトリアンとしての飾物以外何程の事もなし得なかつたであらう。

私達は今此婦人運動史上の大立物の訃音に接して我國の現狀を併せ考へ、感慨に浸されざるを得ない。

三色旗ととも

エリザベス・

米國の婦選運動に於て、なぜ私達はミリタント（武力派）とならねばならなかつたかについては一言を要しませう。我々は請願もやりました。代表委員を送つて直接當路の首腦者と交渉もしました。各州に於て全く合法的手段を盡しました。そしてその揚句に私共は『目にもの見せるやり方』を執る事を、全く餘儀なくせられたのです。

檢束、投獄、全く決していゝ氣持ではありませんでした。然しそれをやらねばならなかつたのです。

日本の婦選運動は私たちのやつた事をしなくてもいゝかも知れません。日本では全ての潮流が婦選の實施を行はねばならない所に來てゐるやうです。政治教育の運動を熱心にやる事、對議會運動を賢こくよくやる事で勝利は得られるでせう。

さて婦選獲得は私共の最後の目的ではありません。この有力な道具を得たら、我々はこれを用ひて我々の



米國婦選運動の闘士來る

婦選獲得同盟では十月十四日夜麹町大阪ビル内レインボウグリルに、維持會員と維持會友の小集を開きましたが、折柄來朝中の米國婦選運動の闘士であつたミス、グリーン母子の歡迎會をも併せ行ひ、その席上で、グリーン女史から米國婦選運動の陣頭に翻した記念の三色旗の寄贈をうけました。

ミスエリザベス・グリーンは、米國婦選運動團體中、ミリタント（武力派）とされたウーマンスパーテーに屬し、その首領アリス・ポールの片腕となつて働かれた闘士ですが、婦選獲得後、太平洋の平和の爲に全力を擧げて働く爲、現在はホノルヽ、にある太平洋問題調査會の機關誌編輯主任として活躍して居られます。

今度の京都に於ける太平洋調査會々議には役員として母君同伴來朝されましたが、市川房枝氏や藤田たき氏とはかねて親交があるので、日本の婦選運動に積極的の厚意を寄せて居られ、着京と同時に、婦選獲得同盟の事務所をも訪問せられ、女史が四年間戰ひに伴はれた旗の寄贈を申出でられました。

旗の三色旗は紫（高貴）白（純潔）黃（勇氣）を意味してゐるさうです。

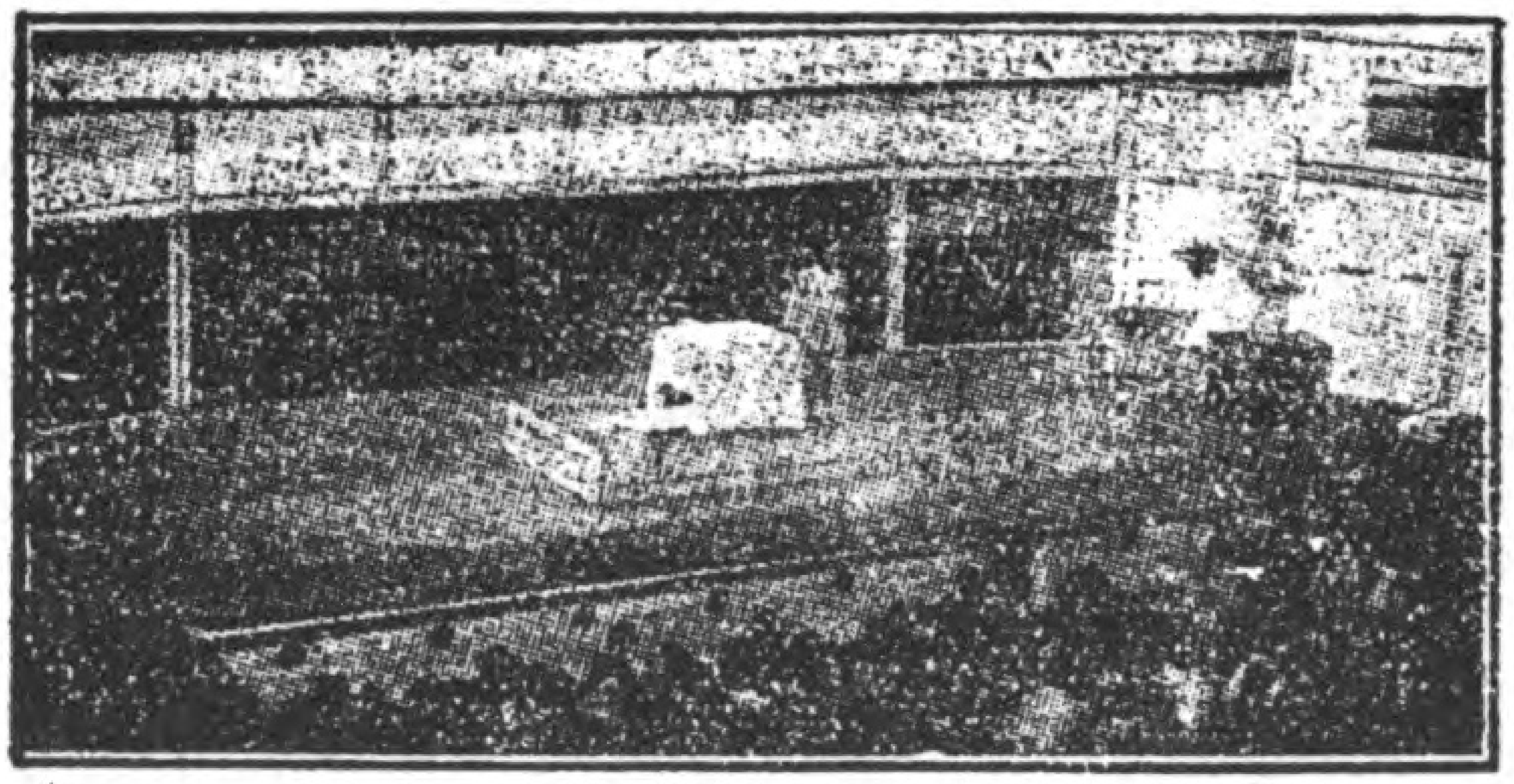
（寫眞説明、向て右より二人目ミスグリーン、市川女史、ミセスグリーン、後方にたれたるは寄贈の三色旗）

におくる言葉

グリーン

思ふ事を成就出來るのです。私たちの團體――ナショナル、ウーマンス、パーテーにはいろ〳〵の人がゐました。所が婦選を獲た時、それは散り〳〵になりました。有力な道具を各自の役に立てたのです。私も獲ない前はフエミニスト運動に從つてゐたのですが、愈々獲た時、私の前に新しい門戸が開かれました。それは從來の運動の中では判らない大きいものでした。それは汎太平洋の仕事です。私はウーマンス、パーテーの機關誌編輯者から太平洋問題調査會の機關誌編輯の任に移り、今は世界的の仕事に奉仕する身となりました日本の愛する同志たち！あなた方も婦選を獲られたら、その已にもたれる立派な力量を以て更に偉大な奉仕をなさる事が出來ませう。

婦選の開く將來の門戸は實に大きい。今茲に私は來朝の記念として我々の戰ひの陣頭に常に飜つた我々ナショナル、ウーマンス、パーテーの旗の一を日本の同志にお贈りします。



中京にあがる婦人の市政淨化の聲

婦選獲得同盟では、十月廿五日に行はれる名古屋市會選擧に先き立ち「市會選擧に婦人は何を望むか」を有權者に示す爲に、市政淨化の婦人時局大演說會を、同地新女性社と共同主催新愛知新聞社後援の下に、十月八日夜同市新守座に開催、山田わか、生田花世、市川房枝、金子茂の四氏が東京より赴きましたが、來名中の三宅やす子氏の應援もあり、聽衆約二千の半ばは婦人にて切符を買ふのに半丁も行列するといふ大盛況五氏の熱辯は遂に中京婦人を起たしめ、選擧廓淸の猛運動を開始する事に、翌日の講師歡迎茶話會で申合せが出來ました。

名古屋の選擧では、候補者が二百人もたつ樣子で、それが婦人からいはせれば、殆ど大部分が人格的に信賴出來ない人ださうで、殊によつたら中京婦人も、女の力で推薦候補を熱心に應援する所まで行くかもしれませんが、今の所では、矢張り、棄權や、買收、請托の防止と、市民の幸福を計る正しい候補者に投ぜよといふ、有權者に自覺を促す運動が、有力に行はれやうとしてゐます。

（寫眞說明　新守座に於ける演壇上の市川女史）

月間時事

政治

▽政友會の總裁犬養氏に決定

—犬養氏の經歷—

最近の政治的の動搖の中で重大なるものは、政友會の總裁問題でありませう。新聞紙は政友會內閣が辭職するとすぐ、黨時未だ故田中さんが總裁をしてゐたのに拘らず、政友會は黨首更任問題を中心として、內輪でいろ〳〵の爭のある可き事を報道しました。そして又ほんとにその報道の通り、政友會の危機とも見る事の出來る樣な潮流は、政友會の會內の各派の間（床次さんの一派、鈴木喜三郎さんの一黨、それから望月、岡崎、山本さんの樣な政友會創立當時からの人々と云ふ樣な）に起つた樣でした。それが田中前總裁の突然の逝去、（九月二十九日）によつて、政友會ははからずも黨全體を守る爲めに、內部の爭は暫く鳴を鎭めて、茲に犬養長老を押し立て丶、第六代（伊藤博文、西園寺公望、原敬、高橋是淸、田中義一の順序）總裁として、殆んど、どん底に迄落ちて仕舞つた、大政友會の人氣を、新總裁犬養さんの過去の人望を利用して、再び人氣をとり戻さうとしてゐる樣です。

然し解散によつて、黨內の大部分に淸新の分子を迎えて、眞に一新せる公黨としての自任と氣魄とを以つて、過去の行がかりを捨て、情實の一切に煩はされず、眞に民意を表現するのでなければ、政友會の生くる道は又外にない樣に思はれます。さう考へて見ますと野黨（時の政府に大臣を有さないのは勿論主として政府黨に反對の立場にある政黨）たる政友會が、ほんとの更生と、黨を淸くし人心を新らしくする爲にも望んで止まないものではないでせうか。

尙附言して置きます。犬養氏は第一期以來每回の選擧にいつも當選してゐる代議士で、今迄の生涯の大部分を政治戰にすごされました。最近革新俱樂部を解體して政友會に入黨する迄には、苦節操守の士として一世の敬慕する所となり、時には尾崎行雄氏と共に、憲政の神樣と迄呼ばれた方で現役兵の服務期間の大短縮、軍備の大縮少等は同氏の變らざる主張でありまして、歷代の超然內閣、官僚內閣（衆議院に自分の

黨をもつてない官吏出身の者のみの內閣）に對して、氏一人にしてよく一大敵國の重みを示した事もありました。此先生が今老軀をいとはず、政友會の頭首となられたので、この兵役や軍備の問題等で將來如何樣な態度をとられるかは、一般が興味を以つて眺めてる所であります。

▽疑獄事件

—賣勳・鐵道・取引所—

勳章を賣つたと云ふ事件と、私設鐵道の認可に關して、賄賂を贈つたり、受けたりしたと云ふ事件とは、此次の政治的犯罪の二大事件として、全國民を異常の刺戟に導いた樣ですまだ取引所の認可問題と云ふのが朝鮮にありますが、事は何れも豫審中でありまして、その內容に涉つてくわしく論評する事は出來ませんが、その收容された人々又は近く召喚をみるべき人が、何れも前內閣の大臣又は親任官であつた事からこの收容を現內閣が、政治的の立場から摘發したかの樣な野黨側の口吻も新聞紙に報ぜられました。然し私共は日本の司法權の獨立はまだ大に安心して信頼してもいゝのではなからうかと思ひます。これ等疑獄の問題はやがて公判の開かるゝのを待つて再び考へて見度いと思ひます。

▽新勞農黨の創立問題

—結黨準備中—

大山郁夫さん、細迫兼光さんの一味の方々が筆舌に絕えた不斷の彈壓（非常にきびしい政府當局の取締）の下で再度、合法的な（法律の許す範圍內に於て）新勞農黨の樹立を企てゝ共準備を進めて居ります。そして近く結黨式を擧げる所まですゝんでゐます。舊勞農黨は全國共產黨疑獄が發表されて間もない昭和三年四月に解散され、次の新黨準備會も亦結黨準備大會のまだ終らないうちに解散されてしまひました。その解散の理由は、何れも黨は共產主義者との一脈氣息相通ずるものがあると云ふのでしたので、今回の新勞農黨は、この解散理由となつた、共產主義者との連繫を全然絕ち、公然法律の許す所の、所謂合法政黨たらしむる事に、努力してゐる樣に見受けられます。勿論その此度の結黨を當局が必ず許可するかどうかには尙大きな疑問を存してゐますが、共產主義者との絕緣が認められまして、無事結黨式がすみますれば、そこに新勞農黨は我國の無產政黨中の左翼を守る政黨として

目覺しい活動を、相變らず當局の閃々たる神經過敏の監視中に續けてゆく事でせう、そしてもし解散がありとしますならば選擧戰は、この新黨を加えて、愈熾烈を極める事となるでせう。

▽昭和五年度の豫算

—十五億圓臺にて編成—

深刻の不景氣は、國庫歳入の激減を來し、爲めに政府は明年度豫算は十五億圓臺（昨年は十七億）にて編成しなければならぬ事になり、その方針にて、各省の經費要求額を制限するにつとめて、緊縮內閣の實をまづしつかりと豫算の數字の上で示さんと務めてゐると考へられます。年々國庫の歳入は自然增收と云ふ傾向が現れていたものが、斯樣に歳入減が明らかとなつた點から見ましても世の不景氣の深刻さを知る事が出來ませう。

豫算は議會が開かれる前に、貴族院及衆議院の有力者を招いて內示し、質問應答する事は、例年試みられて居りましたが、これは、憲法はもとより何等形式的にも精神的にも定められたところのないのは勿論で、甚しい變態的のものであるから廢止すべきであるとの議論が與黨（總理大臣を始め大臣の大部分をその黨より出しておる政黨）少壯議員の間に唱へられてゐます。そして有力な新聞紙は、極力これを支持し、そしてその實現を要望してゐます。

この內示會は、日本の政黨政治が未だ發達せず、內閣は、常に政黨外の者（即ち貴衆兩院の何れにも與黨と云ふものを有しない）を首腦者として組織されていた時代に、兩院の豫算に對する空氣を豫め知つて、そして議會に臨む戰備の用にするためにはじめられたものが習慣となつて、今日に到つたものだそうです。

▽義務敎育費國庫補助の增額

—更に一千萬圓增額—

民政黨は、野黨時代に、義務敎育費（これは在來主として地方市町村の負擔で、政府からは其の中の一部分を補助して居りました。）全額を國庫が負擔すべきであると云ふ事を、その重要政策として掲げてゐましたので、緊縮のうちからも此政黨としての公な主張を全廢して仕舞ふわけにもゆかず壹千萬圓だけ增額する事に決定したやうです、この實施は勿

論議會の協賛を必要としますが、もしこれが議會を通過しますと、日本全土の市町村の小學校教育費の負擔金は壹千萬圓丈少くなる事になるのです、そしてそれだけ地方の市町村に餘力を生じます。その餘力の大部分はこれを地方税を輕くする事にして、そして民力を養ふ事にするものと考へられてゐます。そうなれば當然戸數割や家屋税の附加税が輕減されるでせう。尤も政府は、この一千萬圓を捻出する爲十六日官吏の俸給を約一割減ずる事を發表しました。(坂本)

外交

▽第十回國際聯盟總會の成果

—米國國際司法裁判所に加入—

九月二日よりジュネーヴに於て開催中であつた第十回國際聯盟通常總會は、九月二十五日に閉會した。

本年の總會への出席國は五十三ヶ國でその代表者中には現任首相が七人、現任外相が二十二名も交つてゐた。日本からは安達、松平、永井の三大使が代表として出席した。

總會で問題となつた議題の中の重要なるものとしては

一、不當なる侵略を防止するため被侵略國に財政的援助を與ふるの件

二、不戰條約に合致するやう國際聯盟の規約を改正するの件

三、今後二年乃至三年間現行保護關税を增率せず、又は新保護關税を設けないための協定をするため來年一月末に國際經濟會議を招集するの件

四、米國の國際司法裁判所加入承認の件

五、國際紛爭について國際司法裁判所の判決に服從するの件

等があつた。

右の中一、二、は來年の總會まで延期されたが、三、四、五は何れも決定された。殊に米國の國際司法裁判所加入問題は、米國の國際聯盟への參加の第一歩として特筆さるべき事である。五、從來は必ずしも國裁司法裁判所の判決に服從する必要がなかつたが、今度の總會に於て日本を除く諸國は英國を初めとして、全部服することになつた。

尙右諸項の外英國代表セシル氏から軍備縮少に關する決議案が提出されたが、これは反對が多かつたため撤回された又佛國首相ブリアン氏が歐洲經濟聯盟なるものを提唱したがこれは出席中の歐洲諸國代表者懇談の結果、來年の總會までに具體案をつくつて報告することゝなつた。

▽ロンドン軍縮會議招集さる

—若槻氏日本全權に決定—

ロンドン軍縮會議は愈々來る一月十二日頃ロンドンで開催されることに決定され十月七日附で、英國外相ヘンダーソン氏から松平駐英大使を通じて、日本政府へ招請狀が來た。右招請狀は日本だけでなく米、佛、伊三國へも發せられたので、全部承諾すれば五國軍縮會議となる譯である。

招集される迄——海軍々備縮少會議の第一回は九年前ワシントンで開かれ、此時は戰鬪艦を五(米)五(英)三(日本)の割合に制限することに決定された。その結果日本としては八億圓から十億圓程の節約が出來た。

第二回は戰鬪艦以外の補助艦即巡洋艦を制限するために、一昨年ジュネーヴに於て日、英、米の三國で開かれたが、英米が對抗して相ゆづらなかつたため、遂に協定が出來ず、爾來そのまゝに放置されて來た。

所が本年四月、國際聯盟の中に設けられてゐる軍備縮少準備委員會の會合で、米國代表として出席してゐたギブソン氏が大統領フーバー氏の海軍々備縮少に對する意見なるものを發表した。この事から再び軍縮會議開催が問題となり初め、六月以來米國駐英大使ドーズ氏と英國首相マクドナルド氏との間に交涉が進められ、九月末には英首相自身米國に渡つて大統領フーバー氏と會見して打合はせた。其結果が十月七日の招請狀となつてあらはれたのであつた。

會議に於ける討議題目——招請狀によると來るべき軍縮會議での討議題目の主なるものは

(一)ワシントン會議で決定された戰鬪艦の代換建造を延期する事
(二)水上補助艦(巡洋艦及驅逐艦)の制限及縮少
(三)潜水艦の制限及全廢

の三つのやうである。この三つの中最も問題となるのは第二回の會議で失敗した(二)の問題であるが、此度は前に競爭した英、米二國の間で已に大體協定が出來ての上の招集であるから先づ大丈夫であらう。

巡洋艦に對しての兩國の主張してゐるところは

▼英國
八吋砲艦　十五隻、六吋砲艦　三十五隻
合計　五十隻——三十三萬九千噸

▼米國
八吋砲艦　二十一隻、八吋砲以外の艦　十五隻
合計三十六隻——三十一萬五千五百噸

らしいが、まだ全部協定は出來てゐないやうである。
尤もこの數字は英國にとつては大體現在ある軍艦をあげて居り、多少は縮少になるが、米國としては現在はこれだけの軍艦を持つてゐないから、縮少でなく擴張をすることになる。

日本の態度並に代表――右、英米の交渉の顛末は、其の都度報告を受けてゐたので、日本政府としては早くからこれに對する研究をしてゐるが、七日の招請狀に對しては喜んで參加することに確定してゐるし、會議題目に對する我國の態度も決定してゐるらしい。

日本の對策として傳へられるところによると

(一)主力艦の建造延期には反對しない
(二)八吋備砲巡洋艦及小型巡洋艦は米國の七割要求
(三)潛水艇の廢止には絕對反對で英米と同率要求

といふにあるらしい。然し米國の七割とすれば日本も米國同樣軍擴になるらしい。

代表はジュネーヴ會議が海軍の專門家を主とした爲めに失敗したといふ事實から此度は政治家を主としやうといふことに英、米も意見が一致してゐる。それで日本も主席には首相級の政治家をあげる事に腐心し、前總理大臣若槻禮次郎氏の承諾を得た。尙若槻氏以外に財部海相、松平駐英大使も代表に決定した。一行は十一月末橫濱出帆渡歐の筈である。

▽露支の交渉と英露の國交回復

―何れも交渉中―

露支の交渉進まず――去る七月、支那がロシアの管理に屬する東支鐵道を暴力に訴へて回收したことから、一時は露支の間に戰爭が起りさうにまでなつた。然し小ぜり合ひだけで大事にはいたらなかつたが、それかと、つてこれが解決のための交渉もまだはかどらないでゐる現狀である。

八月末に南京政府からドイツ政府を通じて露國に東支鐵道に關する一切の懸案を解決するために露支會議を開催するやう申込んだ。これにはロシアも贊成であるが會議を開くことに關する兩國共同の宣言を發表すると同時に、支那が拘禁してゐる千餘名のロシア人を釋放すること、東支鐵道の正副局長にロシア人を任命すること等の實現を迫つた。そこでまた交渉は停頓してしまつてゐる。

日本としては利害關係があるので、紛爭の長びくのをうれひ、九月末、幣原外相から露支兩國大使に對し速に交渉を開くやう勸告した。

英露の外交回復――英國と露國とは一九二七年の五月以來外交關係が斷絶され、從つて大使の交換もなく、日本にゐる英國人はシベリア通過で歸國することも出來なかつた。所が勞働黨が内閣を組織して以來、直にこれが回復の交渉が初められたが、一度は不調に終つた。然し九月末になつて再び交渉を開始し、遂に十月四日外相ヘンダーソン氏とロシア駐佛大使との間で成立調印を了した

それによると、外交關係を復活したる後、ロシア駐英大使と英國外相との間に於て交渉を開始する事に規定されてゐる。尤も右は議會の承認を要するので英國政府は來る十月二十九日議會開會初頭にこれを提議し、通過をみた上進められる筈である。（市川）

經濟

▽本年の米收穫豫想と米價調節問題

―不作で米價高―

本年の收穫豫想――農務省は毎年其の年に收穫される米の豫想を發表することゝしてゐるが、其の第一回の豫想を十月二日に發表した。この豫想は九月二十日現在で内地に於ける總收穫高は六千五十七萬八百八十石で昨年の收穫高に比較すると、百六十萬石程增加してゐる。然し豫想よりは少なかつた爲め、この發表後今迄下りつゞけてゐた米の値段が急にまた高くなり初めた。

米價調節問題――米價は最近に於ては大正十四年の平均價格、四十一圓五十七錢（一石建）を最高として、十五年の三十八圓四十七錢、昭和二年の三十五圓八十六錢、三年の三十一圓三十八錢と低落し、昨年の出來秋、即ち十一月よりは遂に三十圓臺を割つて、今年になつてからは二十七圓臺から二十九圓臺の間を上下してゐると言ふ有樣である。

この米價の低落は全戸數の約半數を占めてゐる農家にとつては、重大問題である。尤も一方農民以外の消費者から言へば主要食物である米價は安い程いゝ譯である。

そこで政府としてはこの米價を高からず低からず適當に調節する事が重要な問題となる譯で、現内閣に於ては米穀調査會を設け、最近頻に會合を開いてこれが對策を研究してゐる

米價調節については、實は大正十年に米穀法なる法律が制定せられ、産米が過剩になつた時には買入れて貯藏し、不足

した時に拂下げることにし、そのために二億圓迄金を融通することが出來るやうになつてゐる。この金額は更に本年の第五十六議會に於て七千萬圓だけ增加出來るやう米穀需給特別會計法が改正された。

政府の貯藏米——この米穀法によつて政府は大正十年以來本年の四月迄に七回買上げその間多少拂下げをも行つたが、八月三十一日現在では內地米

十五年米	三十六萬石
二年米	百五十三萬石
三年米	百五十三萬石
白米	千石

と他に二千石程の外米とを所有し、それ等は東京、大阪、酒田、門司等の國立倉庫に積んである譯である。從つてこのために約一億七千萬程の資金がねてゐるし、高い米を買つて安く賣つたり、倉の中で虫に喰はれてしまふため等から來る損失が本年一月迄に五千六百三十萬圓程にも上つてゐると言はれて居る。

米の過剰と米價の低落——歐洲大戰後には日本で食ふ米が足らないと言ふので、うどんやパン其他の代用食の宣傳が頻りに行はれた。所が現在では實は米はありあまつて困つてゐる程になつてゐる。內地だけでの必要な米は一人一年一石一斗二升位として約七千萬石あれば足りる所へ、內地で出來る六千萬石の他に朝鮮から七百萬石、臺灣から二百五十萬石、外國から百五十萬石位輸入されてゐるので、約百萬石乃至二百萬石の供給過剰となつてゐる。(約五百萬石の持越米は勘定に入れないで)

之が最近米價の下落を來してゐる原因で、從つて米價調節のためには朝鮮米及び臺灣米、外米の制限が急に問題になつてゐる。尤も朝鮮、臺灣、殊に朝鮮に於ては米作の奬勵をした結果非常に產額が多くなり、將來益々增加するので、內地への移入を制限すればこの米をどうするかゞ又別な大きな問題である。

又米穀法に對しては、資本家側—米穀商聯合會及商工會議所側から不必要だといふので廢止說が盛にとなへられ初めてもゐる。尤も資本家側にとつては米價の變動が甚だしい程利益があるので、米穀法の廢止をのぞむことは、一方から言へばそれだけに米穀法は調節に役立つてゐる證據だとも言へる

▽爲替の昇騰と金解禁の時期

—來年六月迄に決定—

本年七月現內閣成立直前に於ける對米爲替相場は、邦貨百圓に對して四十三弗から四十四弗の間であつた——平價は百圓に對して四十九弗五十仙であるべきである。所が組閣後の三ケ月の間に約三弗騰貴して十月十二日には四十七弗十六分の十一迄になつた。尤も此間四十八弗にも上つた事もあるがあまり急激に騰るのはかへつて不健全であるといふので抑制したこともある。

この爲替の騰貴は現內閣の國際貸借改善、公債政策の確立財政の緊縮、消費の節約等による努力に對する結果であると現內閣は大に鼻を高くしてゐる。

此の昇騰がそれ等の結果であるか否かは別として、兎も角四十八弗位に達すれば解禁差支なしとて、銀行業者、並に與黨の方面から速に解禁する樣にとの要求が出初めた。之に對して政府は其の時期の明示をさけてゐるが最近に於ては昭和五年の上半期末(六月)までには解禁することを決心したと傳へられ、更にこれが準備のため、大藏省駐外財務官津島氏をニユーヨークに派遣しこれが準備をなさしめることにした事が發表された。

津島氏の任務はニユーヨークの正金銀行支店をして彼地のモルガン等の銀行家から政府所有の公債證券等を擔保に入れて、二億圓程の借入をなさしめ、これによつて內地正貨の流出を防がしむる一手段とするにあるとの事である。

津島氏は十月十七日に横濱を出發する筈である。

▽砂糖の關稅及消費稅徹廢問題

—日本は外國より割高—

最近製糖會社や砂糖供給組合、及菓子商組合との間に砂糖の關稅並に消費稅の撤廢輕減問題が、やかましく議論されてゐる。

現在の砂糖に對する關稅及消費稅は極めて高率で實に左の如き率を課せられてゐる。

砂糖一斤に對する關稅及消費稅

	關稅	消費稅	合計
下等(黑砂糖その他)	二錢五厘	一錢—一錢五厘	三錢五厘—四錢
中等(ザラメ等)	三錢五厘	五錢	八錢五厘
上等(三盆白)	五錢二厘	八錢三厘五毛	十三錢六厘五毛
同(氷砂糖角砂糖)	七錢四厘	十錢	十七錢四厘

砂糖は現在國際的に見れば供給過多で、一九二八年に於ける砂糖の供給は二千八百萬噸であるのに對し、消費は二千六

百萬噸で、實に二百萬噸の過剰である。そのため國際聯盟では特別委員會を設けて、これが救濟方法について協議してゐる。外國に於ける砂糖は極めて低廉で、米國の如きは白砂糖一斤五仙(日本の十錢)内外で買へる程で、これでもまだ高いとして始終問題になつてゐる程である。(市川)

社會

▽東京市の多産制限

―方法は審議中―

東京市の乳幼兒死亡率は一三%から一七パーセントを上下してゐるが、その内本所、深川、淺草等は特に高率で、細民街に於ては二〇%を超えてゐる。細民街の人々、即ち東京市社會局の細民調査のカードに載つてゐる人々の數は實に二萬三千世帶、十三萬人に上り、子供の數は一世帶平均三人强、六七人の所はザラにあるといふ多産ぶりなので、一家食ふや食はず、愛する子供をみすみす養育しかねて殺して了ふ向が尠くない。

東京市ではかねてこの現象に對して、救貧對策としての多産制限を講究中であつたが、愈々實行と決し目下保健局衛生課で具體案の作製を急いでゐる。

その方法は、市内八ケ所の健康相談所に多産制限相談係を設け、こゝでその正しい知識と方法とを敎へ、更に市内三十二ケ方面の方面委員にも多産制限の趣旨を徹底せしめ、これらの方面委員は細民の家庭巡回に際し、多産に惱む家庭があれば健康相談所にゆくやうに、手續を執つてやらうといふのである。

産兒制限の問題は、歐米諸國では已に常識となり習慣とさへなりつゝあるが、我國に於てはまだ是非の論が區々に行はれてゐる時代故、今回の東京市の果斷な態度についても、各方面にそれぞれの反響をよび起してゐるが大體に於て好感を以て迎へられてゐる樣子である。

實際多産と貧困の關係の密接なる事に就ては今更いふ迄もないが、いつまで日本は昔乍らの貧乏人の子澤山を續けねばならないか、その子供たちを大方早死させる大きな浪費を見逃しておかねばならないかといふ事は婦人の立場からも、常に重大な問題であつた。

健康保險もまだ一部分に限られ、失業保險や養老年金の制

度もなく、乳幼兒の托兒施設もまだ〳〵不十分な今日、よしんば救護法の如きが實施されてもこれ又極く限られた老幼廢者に限られるといふ狀態では全くこの階級の人々は、餓死をまつ他はなく爲に每年あはれな親子心中が數を高めつゝある故に如何にしたらこの窮境からこの人々を救ひ出す事が出來るかを少し本氣に考へたら産兒制限の途に出づるは寧ろ當然であらう。東京市がいつまでもこの問題を避ける態度を捨てゝ先立つて敢然と着手したのは、將に正しく欣ばしい事ではある。

今日行はれる産兒制限反對論は、たゞ槪念的な産兒制限亡國論ではなくて、これが實行に於て、實際に必要な細民階級への普及よりも中流以上により多く行はれ、當然子供を養育すべき義務と能力ある人々が單なる活動の利便や、生の享樂の爲に産兒を避ける傾向の現はれやすい事を恐れるもの、及び醫學上より見て今日迄に行はるゝこの具體的方法が、絕對に無害にして奏効確實なるものがないとするものなどであるが、これらは寧ろ實行上の問題であつて、本質的な反對論ではない。

從つて市はこれを斷行する以上、その實際的指導の方法については愼重なる上にも愼重を加へて、この重大なる社會問題に對する開拓者として悔なき成績を收めるやうにといふのが、各方面の希望と期待であると共に又我々婦人の願ひでもある。

▽カフエー、バーの徹底的取締

—營業者大恐慌—

警視廳では九月七日かねて問題となつてゐたカフエー、バーの徹底的取締の新規則を發表した。

新規則の槪要は次の如くで

▲新規營業及移轉の時出願すべき場合

(一)特に靜謐を要すべき場所に近接するとき
(二)市街地建築物法上の住居地域にありては百米以内に同種營業所あるとき
(三)前記以外の地域にあつては五十米以内に同種營業所あるとき
(四)百米以内に學校あるとき
(五)棟を異にせずして他人の住居に接するとき

▲營業所の構造設備で左記に該當するときは既存のものは速かに改造すべく、新規出願は許可せず

(一)別室または隔壁にして風紀を紊るの結果に陥り易きもの
(二)客用の浴槽を設けるもの
(三)客席の照明にして著しく暗きもの、または異樣に涉るもの
(四)營業所内に舞臺を設けるもの

▲營業者の遵守すべき事項

(一)營業時間は午後十二時を超えざること
(二)舞踏または演劇活動寫眞(幻燈を含む)その他興行に渉り若しくはこれに類する行爲をなしまたはなさしめざる事
(三)甚しく附近に迷惑を及ぼすべき高聲の樂器を使用せざること
(四)飲食物の料金を表示する事
(五)客の誘引をなしまたはなさしめざること
(六)身許不詳なる者を雇入れざること
(七)雇人をして客と同伴外出せしめざること
(八 雇人をして藝妓類似の行爲を爲さしめざること
(九)客の求めなき飲食物を提供し、または食券、招待券等の押賣りをなさざること
(十)雇人より出錢其他名義如何を問はず金錢物品を徴收せざる事

これによつて屢々問題となつた諸點は禁止又は廢止された。何しろ現在東京だけでもカフエーは六一八七軒で、問題の女給は一軒に大抵二三人づゝ居り、多い所では四十人以上の所もあり、その總數一三八四九人に上る。年齢は二十歳から二十二歳が一番多く有夫者は全體の約一割にしか當らない。大部分が小學校卒業で、女學校卒業者は三五〇人、專門學校出が三。その大部分が無給で、所謂チップ制度、その所得中より雇主にお出錢をとられてゐたものである

これで女給側の要求お出錢廢止は叶つたが、又別に新しい名目で食費代その他を徴收されるので大した違ひはないといふものもあり、傭主側でも大分こぼしてゐるが丸山總監を初め警視廳の態度が强硬なので大に効果が上つて居り、次第に全國に波及しつゝある。銀座あたりでは「學生服學生帽のお方は不本意乍らお斷り申候」なぞといふ看板さへ出した店がある。

この際といふので市の社會教育課では女給の向上教育を考へる事となり、出來れば團體組織をと迄乘り出してゐる。大阪でも女給聯盟が出來、東京でも無產婦人團體が組織に盡力してゐる。

とにかくこれで堀切市長の新財源の一として女給税取立てだけは出來なくなつた譯である。(金子)

◇月間時事について

九月の十六日から十月の十五日頃迄に於ける政治、外交、社會、經濟各方面に於ける主なる出來事を分擔執筆しました。今後毎月引續いてすることにいたします。

擔任者のうち專門家といふのは殆どありませんし、それに頁も充分與へられませんでしたので、記事に不充分な點が多々あらうと思ひます。然し執筆者は解り易く、面白く讀んでいたゞけるやう大に努力する積りでありますから御愛讀願ひます。記事中の述語、字句の解説、補説を別にとり出してする積りでしたが頁の都合上、本月は出來ませんでした。十二月からの月間時事擔當は左の諸氏に願ひました。(ふ)

政治――坂本眞琴　外交――藤田たき
經濟――市川房枝　社會――金子　茂

婦選いろは手引

けふは『婦人公民權とは何ぞや』といふことを勉强いたしませう。皆さんにぜひ用意していたゞきたいのは、地方制度即ち府縣制、市制町村制のあつめてある本です。

地方制度通といふのや、六法全書の終りについてゐるのもあります。皆ポケット型で一冊はぜひ必要ですから、おそなへ下さい。地方制度は昭和四年四月十五日に改正になりましたが、まだ昭和四年版の本は少いかも知れませんし、改正の部分が今日は不用ですから、大正十五年以後のものならよろしい。

一、公民と住民

さて最初に、市制を開いてその第二款市住民及其ノ權利義務の條を御覧なさい。

さあ第八條には市住民について規定してあります。同第九條には市公民について規定してあります。比べておよみなさい。

第八條　市內ニ住所ヲ有スル者ハ其市住民トス

市住民ハ本法ニ從ヒ、市ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ市ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

どうです。市內にさへ住めば、子供も大人も、年寄も、男も女も市住民ですよ。

次の第九條はどうでせう。

第九條　帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來市住民タル者ハ其ノ市公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一、禁治產者及準禁治產者
二、破產者ニシテ復權ヲ得サル者
三、貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
四、一定ノ住居ヲ有セザル者
五、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
六、刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ揭クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
七、六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ揭クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

市ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

第一項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

（大正十五年法律第七十四號ヲ以テ本條ヲ改正）

大變長いのですが、この中で一番大事なのは一行目の「二十五年以上ノ男子」といふ處です。「ノ男子」と斷つてある事は、女子を含まないといふ明示なのです。即ち帝國臣民の半數をしめて居るにも不拘、われ〳〵女は、こゝに法律の上に明らかに、一から七までの男の中の極く一部分の取り除け者と一緒に、公民でないことになつて居るのです。

それでよく婦人公民權といふ言葉は用ひますが、今日の法律では公民は皆男子で婦人の公民といふものは未だない、從つて婦

人に公民權を與へるに就ての諸問題といふ意味で、婦人公民權問題といふ言葉はなりたちますが、婦人公民權といふ法律的な言葉は成りたたないのです。

二、公民の權利と義務

これでとにかく市民にも住民と公民の二種ある事はお判りでせう。そこで公民とはどんな權利と義務があるか、もう少し公民の正體を調べてみませう。次を御覽下さい

第十條　市公民ハ市ノ選擧ニ參與シ市ノ名譽職ニ選擧セラルル權利ヲ有シ市ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市ハ一年以上四年以下其ノ公民權ヲ停止スルコトヲ得（同上本項ヲ改正）

一、疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二、業務ノ爲ニ常ニ市內ニ居ルコトヲ得サル者
三、年齡六十年以上ノ者
四、官公職ノ爲市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五、四年以上名譽職市吏員、名譽職參事會員、市會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セザル者
六、其ノ他市會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

この中で、やはり初めの所が大切なのです即ちこゝに初めて「公民權」といふ字が出て來るので、公民權、即ち公民の權利とは

市の選擧に參與し、市の名譽職に選擧せられる權利

であつて、同時に

市の名譽職を擔任する義務

もあるのです。公民であつて名譽職に擇ばれた時に、右の六項の何れにも當てはまらないのに當選を辭したり、職を辭したり、就任はしても實際に仕事をしなかつたりすれば、公民權停止といふお仕置にもあふのです。（軍人や學生はこの限でない事を第十一條で規定してゐます。）

續いて第二章市會第一款で組織及選擧の條に入つて第十四條を御覽下さい。

第十四條　市公民ハ總テ選擧權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ（大正十年法律第五十八號、同十五年法律第七十四號ヲ以テ本條ヲ改正）

これは市民でも公民でなければ選擧權がない事を明らかにした條項です。更に

第十八條　選擧權ヲ有スル市公民ハ被選擧權ヲ有ス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選擧權ヲ有セス

選擧事務ニ關係アル官吏及市ノ有給官吏ハ其關係區域內ニ於テ被選擧權ヲ有セス

市ノ有給ノ吏員敎員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ市ノ市會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

とある通りに、市公民は被選擧權もあるのです。**そこで婦人は公民でないのですから公民としての權利も勿論ない。**従つて市の選擧に對してもこの選擧權も被選擧權も何一つないのです。

所でこれがないとどういふ風に婦人が困るか、この次は婦人と公民權の問題は、婦人の生活と市の政治の關係について調べて行きませう。（つゞく）

海外だより

◇市議候補のテスト

公民權を得た印度マドラスの婦人達、市會選擧にあたり、候補者に質問狀を發して婦權擴張を期す。質問中に

一、貴下は女子高等教育振興の爲に御盡力下さる乎。

一、未成年の小娘と四十才以上の男子との結婚を罰することに御賛成なりや。

一、花聟賣買の惡習慣撤廢に努力さるる乎

一、寡婦の再婚を認めらるゝや。

一、妻及び娘に、夫及び父の相續權及び財産の所有と應分の權利を與へることに御賛成なりや。

等々の項目あり。

◇勞働神聖の米國女學生

男よりも女の方がわりの惡い事は、普通の就職の時ばかりではない。世界中で一番女が自由で潑溂としてゐて威張つてゐるといふアメリカで、女學生が何かしら學資を稼がうと思ふと、男學生程思ふやうな口が無い、そこで彼女達は裁縫婦になる、子供の附添になる給仕人にもなれば家政婦にもなる、女中、賣子、タイピスト、料理人、書記、店員、さては劇場の案内人となる、といふやうに、稼ぎ且學ぶ女學生が多くゐる。日本の女學生だつてさうだと言へるかどうか、社會の組織が違ふと言へばそれまでではあるが。

◇嶮に立つ南米の婦選

北米の合衆國やカナダの婦人達に比ぶれば南米諸國の婦人界はいろ／＼の點で立ちおくれの觀がある。然し、漸次、社會的に政治的に向上してゐるのは事實。近くはチリーで婦人參政權が認められるらしく、さて、さうなれば、二十萬乃至二十五萬の婦人投票者が有ることになる。これが認められれば、チリーは南米に於て、國家として婦人參政權を認める最初の國となるわけ。現在、ブラヂルとアルゼンチンではある州で婦選を認めてゐる。

◇ギリシヤの婦人公民權

ギリシヤでは一九二五年に婦人公民權案が議會を通過したが、大統領の承認がなくて效力を發生しなかつたのであるが、近く婦人の公民權を認むることになつたと。

◇女のための女の病院

近くロンドンに新設されようとしてゐる婦人の爲の婦人の手になるマリー・キユウリーカンサー病院は、ラヂウム發見で有名なマダム・キユウリーを院長に推すことに決定。建築は、スツラットフオード・オン・エボンに出來た沙翁記念劇場の女流設計者エリザベス・スコット女史の手になるものであるといふ。

◇英國婦人公吏の要求

英國では既に男女平等の參政權が認められて婦人の政治的社會的進出は目覺ましいものであるが、然し種々な方面に男女平等の權利と機會を握る爲にはなほ多くの努力が要る、例へば婦人の公吏としての地位の向上、報酬の値上がある。そこで婦人公吏が團結して、勞働黨の選擧戰當時の聲明に從つて、婦人の報酬を增す事、結婚に依る障害を除き、公職の凡ゆる部門に於て高級の地位を婦人にも解放し、更に、領事や外交官の地位をも婦人に解放せよと迫つてゐる。

讀者論壇

婦選の叫びは 先づ女教員から

齋藤芳江

×

婦選の要求は自己を知る者には當然舌端をもれなければならない叫びである。

自己を知るとは何か、それは人間の人間たるべき今日あるを知る事である。云ひかへれば社會的自覺である。われ等生存の意義を知るものであり、人間社會の本質である進展性に生きるものである。誰でも昨日より今日、今日より明日へ伸びやう進まうとする慾望はある。

少しでも容ぼうの美ならむとし、よリ安定なる生活や、よりよき幸運を願はないものがあらうか。それは意識的であらうとなからうとすべてに進歩と完全を望む人間性の然らしむる所だと云ひ得るではないか。

×

よりよき自己を欲するものはその生活の對照たるべき環境の住みよさ

婦人界展望

緊縮内閣と婦人團體

◇東西聯合婦人會まづ動く

濱口内閣が眞向にふりかざす緊縮政策に對して、婦人は如何な態度を示してゐるか――先づお膝下の東京では、東京聯合婦人會が九月十二日午後首相官邸に加盟團體代表を招きこの際婦人は何をすべきかについて、首相、藏相より緊縮及金解禁の話を聽きました。集るものは、七十餘歳の棚橋絢子刀自を初めとして三百名、凡そ東都に名ある婦人は殆ど全部といつてい丶位でしたが、又それだけに參集に自動車を用ひる人が九分九厘、何の爲の緊縮ぞの聲も洩れない譯には參りませんでした。

そこで「皆樣方の御意見を」といふ内相の言葉に、羽仁もと子、久布白落實の諸女史の切りこんだ鉾は流石にするどく「大きな無駄こそは男子側がする」「この際公民權を與ふべし」などゝいふ案配でしたが、とにかく政府側として、これだけの事を賴む、婦人團體側としても何をやる事にするといふやうに具體的なまとまりはつかずにこの會合は終つたので、どうやら東都名流婦人はたゞ感激の泪を流したとのみ傳へられたも餘儀なかつたのです。

全關西聯合婦人會は八月中にいち早く井上藏相を招いて講演を聽き、自ら全日本婦人經濟大會を九月廿一日大阪に主催する事になりましたが、代表申込は宮城、秋田等に及び、東京よりも數名の出席をみました。

會議は、一輸入抑制、二輸出振興、三消費節約、四婦人の産業組合組織、五生活の合理化、六決議事項の實行普及方法の六項

を顧はぬものはない。人間が唯一人で生き得ない限り、相互扶助による社會を求めるは當然である。――我等はそれを云ふ前に幾數千年來の傳統によつて築かれた社會の中に置かれて存在であるのだ、われ等は曲りなりにも自己を今日あらしめた傳統とその遺産なる社會文化なるものに謝すると共に未來に向つて何等かの爲すべき仕事の一端を負ふてゐるものだと感じなければならないではないか。われ等は前代のものをそのまゝ受繼いでそれを更に後代に殘すといふばかりでは何等の意義がない。そこでよりよき社會的生活をすべての人間が享受して進むためには合理的な社會組織が完成せられなければならない。古來幾多の國の人々が人間の平等生活のために、階級打破のために戰つて來たではないか。すべての人間が人間としての權利を獲得するにどれだけの人間の血によつて得た今日であるか、又今後もその戰ひは止まないであらう。こゝまで來た時にわれ等は自覺しなければならない、われ等は有難い昭代に生を得た日の本の女性であることだ、この榮光世界に冠たる國に生れながらわれ等の受ける幸福は如何われ等は自問自答しなければならない。

に分ち行はれましたが、問題が大きいだけに議論は抽象的になり易く、結果は申合せ程度に止まるものが多かつたやうですが、消費組合はその後已に大阪に設立されやうとしてゐます。

この會議で、東京側が擧つて提出した緊急動議「この際公民權獲得の決議をなすべし」は「今次は政治にはふれまい」といふ大阪方の考へで否決されたので、東京は政治大阪は經濟などゝ觀る人も大分あつたやうですが、政治と經濟とはそんなに切り離せるものだらうかといふのが、東京側の云分です。

◇各地方團體又起つ

とにかく政府としては文部省の教化總動員の網の目に、全國の婦人團體、女子青年團をすくひ上げる豫定で、これと協力して內相自身の率ゐる公私經濟緊縮委員會が全國的に働きかけやうといふので、從來も御用をつとめて來た勤儉奬勵婦人委員會の如きは御奉公の時とばかり、例の愛國貯金の宣傳隊を大童にくり出さうといふので、塚本ハマ、大江スミなどの女史が先達で各地方に遊說し、文部省では初めての婦人督學官達をもその第一線にたゝせるといふ有樣です。

そこで東京府市は合同で、東京の婦人團體代表者、各高女校長をこの十月十四日に招く筈です。大日本聯合女子青年團は、同十、十一日教化動員大會を開きます。

東京府下私立高女組合會でも節約を申合せ綿服實行、小遣錢調査、遠足の辨當節約などの實行が開始されてゐます。

四谷婦人會は聯合婦人會より早く九月十日井上藏相を招いて「立直し講演會」を開き、又內相夫人を聘して緊縮座談會を行ひ麴町婦人會は「酒タバコやめませう」「ガス水道電氣節約しませう」「緊縮貯金」「國產品使用」などの具體的な申合せの實行を開

×

國民の半數をしめてゐるわれ等が何故に共に建設して行く生活の堅固な一本の支柱たるべき力をも與へられないのであるかを。

そして叫ばなければならない、舊い時代は去つたのだ、我等にも國民たるの名に辱しからざる我等の仕事のために共に手を把つて進むべき力の完成を與へよ、と。今、我等は田園に工場に會社に街頭に國民登成の機關に共に全力で働いてゐるのだ、社會流動進展の組織の一端をしめる一員としての責任を負ふてゐるのだ、こんな自明な眞理が何處にあろう、理論の時は過ぎた、最早すべての職業に立つ女性のみでも自覺し婦選を叫ばなければならない時ではないか

×

せめて未來國民の教養の任に立つ女教員の一人一人がこの自覺を先づ第一に持つことが出來たならと思はざるを得ない、われ等は教育者であるといふことさへ眞に知る者も難いかなの現在の職業意識にかたまつた人達を見なければならないとは何といふ悲哀であらうか。それのみか師範出の若い新思想に惠まれてゐる人たちでさへ獨社會觀念に乏しく、その日ぐらしの職に合せに安住するか

始しました。

神戸聯合婦人會でも内相夫人を招いて座談會を行ひ、愛知縣では名古屋母の會提唱で愛知縣婦人聯盟を組織して親しく首相を招かうとし、京都、石川、その他各地方も已に活動を開始しやうとしてゐます。

今秋の無産婦人團體

最近無産婦人團體の運動が不活潑である事が憂えられてゐましたが、近く無産婦人團體協議會が組織され、新陣容を形成し、全國的進出をはからうとされてゐます。

無産婦人團體は現在では社會民衆婦人同盟と無産婦人同盟の二つだけで社民黨を支持する前者は東京のガス問題にも供託同盟に參加して活動を續けてはゐましたが、決して十二分といふ譯でなく後者は日本大衆黨を支持する關係上、大衆黨内に在る舊日勞系と舊無産大衆黨系の二派が婦人同盟中にも存在し、即ち舊全國婦人同盟系と、舊無産婦人聯盟系とが思ふ樣に一致を見られないといふ内部的な原因の爲、とかく活動力をそがれてゐました。

今度の協議會はその舊全國系の人々が主として提唱して居るもの丶如く、菊川靜子、織本貞代氏等を中心とするやうです。

無産婦人聯盟系には平林たい子氏等があり、この別派として堺眞柄氏が居り、それ〲無産婦人團體の團結を望んでゐますから恐らく之は成功するでせう。又成功して貰ひたいもので、これに依つて從來稍もすれば、社會運動を後廻しにして政治運動に奔るといふ理由で勞働婦人側に不滿を感じさせた無産婦人團體の運動が、本流に向つて活潑に動く事になりませう。

序乍ら、この舊全國婦人同盟系の人々によつて、先に勞働婦人相手の塾が龜井戸に出來ました。近くは女給組合の組織も成立するやうです。

社會民衆婦人同盟に對しては今度明日會

又は回避的な邪道に盲從してすべての問題は耳をかすめて素通りさせる人々が多いのである。あまりに個人主義的な世界を出ない盲斷だと云はなければならない、一寸考へただけでも目をみはらなければならないやうな女敎員の待遇の狀態などにも何の關心を持たずにトク〳〵としてゐる人々がある。女は素直なものが勝だなどいふお座なりをそのまゝ奉じて利口ぶつてゐる人もある。私はいつか同僚の若いそれに文學や映畫の愛好者である人に婦選を奬めて見た

×

彼女は云つた「私參政權などくれても要らない」又旣婚の同僚連中は數人の子の母であり、妻であり、而して生活費の爲の敎員を兼職する——却てこちらが氣の毒のやうな顏をして見向きもしなかつた。私は感慨無量に默つてしまつた。笛吹けども踊らず、のわれ等の友よ……幸に之が北越の雪深い國に生れたるわれ等のみの偏見であつてくれ。そしてなるべく早急にそれ等は彼女等の腦中から消え去るべき雨雲であつてくれと願ふものである。

×

何はともあれ未來のわれ等たるものを指導する任にある吾女敎員が、

と稱する後援團體が生れ、十月五日映畫會を催しました。同人は村上秀子、正田淑子、大濱英子、宮崎樺子、馬島久子の諸氏ですが、婦選獲得同盟の麗日會に對して對照的な位地をしめる譯です。

又堺眞柄女史が昔日の赤爛會を復興して新しい無產婦人團體を作るやうな話も傳はり、この秋はこの方面にも大に元氣な活動が見せられやうとしてゐます。

女子農業學校創立

農村を繁榮させるには、まづ農村の母を作らねばといふ譯で、本野久子、目賀田逸子三島加根子などいふ貴婦人たちによつて社團法人國際婦人農事協會が生れました。何しろまだ一文の基金もない由で、目賀田夫人は自作手藝品のバザーをやり、映畫會なども皆がゝりでやり、それらの純益で來春あたりまでに那須野ケ原に女子農業學校を創立するとの事。尤も實際の仕事は谷耶一佐といふ老人がやるらしいので、本當の婦人の力で生れたのかどうか解らない點もありますが、時代の勢は、かういふ上流婦人にもこの種の仕事を擇ませるまでに到つたともいはれませう。

女子青年團の結婚改善決議

九月十五日に行はれた新潟縣第三回女子青年大會では結婚改善に關し、實施すべき事項の討論で、男子の貞操は女子のそれに比し甚しく低下してゐるからその改善が先決問題だとして、數項の申合せをした中に曰く「許嫁の因襲を廢止して夫には自ら人格ある男子を擇ぶこと。結婚と同時に入籍し內縁の夫婦關係を根絕すること。」

汎太平洋會議出席の婦人

十月下旬より京都で開かれる汎太平洋調查會議に出席の日本婦人代表は東京女子大

凡てがより幸福なる生活の向上のために婦選の叫びをあげて互に手に手を把つて國家を取り巻く日の來らむことを願つて止まないのである、一の力よりも二の力で永遠の女性のために、そして社會のよりよき合理的進展のために即ち、よりよき母であり、妻であり、愛人であり、社會人であり、敎育者であり、處女であるために、山村に田園に街に敎べんを取るわれ等より先づ自覺の上の正しい婦選を信乎してわれ等のものとするための叫びをあげて新時代のトップを切らむとするを、無力な一女敎員として痛感する所である。

新刊紹介

奥原晴湖（稻村量平著）

閨秀の文人畫大家として明治初年に知られた晴湖奥原女史の文献の散逸するを惜しみ、女史と兄弟も同じ交りをなしたる稻村氏の息量平氏編みたるもの、作品、傳記、逸話、印譜等を收めたる和紙雅本、人間としての偉婦人晴湖を知るに可なる好著廣く婦人に讀まるべきものと推奨す（定價三圓、發行所銀座尾張町晴湖本會取次）

學長安井哲子、女子英學塾長星野愛子、女子學院學監三谷民子、日本基督教女子青年會同盟幹事長辻松子の四女史と決定。外國から出席代表中の知名婦人は、英國は國際聯盟總會へ數回代表として出席したリットルトン女史、倫敦經濟政治學校講師兼ロンドン大學經濟史講師のアイリーンパワー女史、米國は婦人有權者聯盟第一副會長ルデイングトン女史他五名、濠洲からは、メルボルン大學動物學、寄生動物學の名譽講師ジョージナ。スウキート女史、メルボルンの慈善事業及社會事業家のミセスエマートン第一回汎太平洋婦人會議で活躍したミスヒンダー等等。

それにこの秋は、ウイルソン未亡人やら、これも十月東京で開かれる萬國工業大會に米國から能率研究の權威者で十一人の子の母であるギルブレス夫人も來朝します。

教化總動員（其の一）

「そんなに手や足を伸ばさないでゐるんですよ」

教化總動員とは、切角のびた手足を、短い着物に包んで置からうとする徒勞である。人間の精神は、お念佛を唱へることによつて、作興はされない。すべてその反對の方法によつてのみである。



教化總動員（其の二）

『母さん、大神宮さまなんてつて拜めばいゝの』

『さうねえ？？？』

神や佛『はてさて、又苦しい時の神頼みか。それにしても今頃俺等をダシに使ふとは、えらい世の中も古風になつたものぢやなあ』





（實話）

一生に一度

三井みさ子

その時の私に殘されてゐるものは、ただ最後の決斷、まつくらな山手の道を、ゆきつ、もどりつ、私は死について考へてゐた。

僅か二十歳の私にとつて、二百圓の借金は大きかつた。それは、三十五圓の月給で、九年足の立たない祖父と病弱な祖母とをすごして來た私の、十六から二十までの間になした借金であつた。

私達は、洗ふやうな貧乏の中に堪へしのべるだけは忍んで來た。併し、巣鴨から池袋、池袋から目白と、どんなに安い借家に住んだとしても、その頃の物價は、五人の口をすごして三十五圓では足りなかつた。

私は勤め先へ、大抵は歩いて通つた。夜は家へかへつてから、封筒かきなどもした。

併し、それだからと云つて、私達の生活はどれだけ樂になつたらう。

家の中にあつた、目ぼしいものは大よそ賣りつくした。唯一軒の親類にあたる目黑の伯父にも、頭を下げて願つた。

併し伯父は、祖父母の息子である私の父の不身持を理由として月十圓の都合をさへつけてくれないことが多かつたのだ

私は、自分が、生母も知らず、父も判らず、なぞの中で生れて來て、今のこの祖父母の手で育てられたことを知つて居たから生みの父親でないその放浪の人に、子としての文句はおろか、話さへ出來なかつた。

私達は、いく夜、戸の外の木枯をきゝながら空腹をかゝへてねむつたらう、私達はいく朝、火もない四軒長屋のしめつた疊の上に、むなしく顔を見合せて居たらう。

『お前、ほんとうにどうかならないかえ』

と、祖母に云はれる度に、私はひとりで、見知り越しの質屋

ののれんをくゞつた。

世の常ならば恥しいといふ若さで、質屋の帳場格子の前で着てゐた羽織をぬいだこともある。

『お氣の毒ですが、古いのでまあ三圓しかつきませんなあ』

と云はれて

『何とかして三圓五十錢につけて下さらない』

と、大人のやうな口をきいた。私の胸の中には、その五十錢を通りの左側のうなぎ屋に寄つて、裂かしたうなぎにかへる目算があるのだ。祖父はこの世の中で、うなぎが一番すきなのだから。

『御事情も判つてますから、ぢあ三十錢だけつけておきませう』と番頭は、横びんの禿を一寸なでゝ、耳にはさんだちび筆をとつた。

朝も空腹のまゝ出て、おひるも食べず、夕方になつて一片のパン、目のまわりそうなからだで歸ると、家の内には來客があるらしい。めづらしく誰だらうと思つてのぞくと、

『今度こそ、どうかしてもらひませう、あの娘さんがあるじああリませんか』

と、横田さんの聲だ。

『小父さん、すみません、今月こそどうかしますから……』

泣かんばかりに頭を下げて、財布をはたいてわびを入れてその日は一先づかへつてもらふ。

五十圓借りて月五圓、百圓借りて月十圓、その高い利子はみす〳〵判つてゐても、私には老ひたる二人を飢えさせてはならない義務があつたのだ。

義父は、まるつきり姿を見せなかつた。

こうして二十の春が來たとき、私は越えることの出來ない斷崖に立つた。

私自身、私のからだを賣るか。

横田さんの言葉にしたがつて、或家に嫁に行くか。

それとも二百圓、耳をそろへて返金するか、その談判が最後の返答をせまつたとき、私は涙を流して二ケ月だけ待つてくれと頼んだ。

私は忘れない。

働くことの前に、あんなにも眞劍であつた私自身、なぜこんなにも困難な道に行きあたらなければならないのか。

私は、女として、女だからと云ふ理由での、何のたのしみをも持たないで來た。一生を通じてのたゞ一つの希望である、文學への燃える切望も、じつと堪えてゐるではないか。

その頃、私の胸は、心配と榮養不良とのために、次第に蝕

められてゐた。
『可愛さうに、あなたは四十圓足らずの金のために、生命を落してしまふのだ』
無遠慮な赤十字病院の若い醫學士は、明らさまに口に出して云ひさへした。
絶對絶命の二ケ月の間に、私は勇敢にも無謀にも、私一人の手でそれだけの金を作らうと決心した。
『あゝ、その時位、私は、自分に戀愛のないことを悲しく思つたことがあつたらうか？』
私は、青春のさびしさや物足りなさのために、戀愛がほしいと思つたのではなかつた。もし、人生の行路にあつて、戀愛があんなにも、多くの人々の口に讃美されるものであるとしたら、愛されるといふことは、私などのとうてい思ひも及ばない、幸福なものにちがひなかつた。併し、その思ひはたゞ異性の胸に戀愛に醉ふと云ふ氣持ではなく、何よりもその時の私には、眞劍に、さうだ、眞劍に私自身の身の上を考へて相談にのつてくれる人がほしかつたのだ。私のまわりの男性達―それは少しでもこちらから手をさしのべたが最後、たゞ目的とするのは私の肉體だけのやうに、私には考へられてならなかつたから……。

ともあれ、その二ケ月の私の苦痛は、誰が知つてゐやう、私は、ありとあらゆる方法をもつて、毎日々々金を集めることに狂走したのだ。
まわらない筆で、懸賞小説もかいた。借りる見込のある友人からは出來るだけ借りた。賣れるかぎりのものは、身の皮をはいでも賣つた。たゞ一つ、からだの純潔の他は――
小箱の底に、全身の努力をもつて集めた金が三十八圓五十八錢となつたとき、約束の二ケ月は切れたのだ。
あゝそして祖父母をつれ、父の殘した幼い妹達をつれて私は、つひに横田の云ふ結婚をすることになつた。
私は、多くの男達にからだをまかせるのはいやだ、どうせならばたゞ一人がいゝ、私は前途ある文學への切望をすてるために、持つてゐる原稿をみんな燒いた。
つみ重ねた原稿の紙が、下から燃えてくるのを見たとき、私はひそかに涙をためて手を合せた。
私の、希望よ、いかなる苦痛に押しひしがれたとしても、どうかもう一度、一切を征服して燃え上つてくれ……
私は、無理な金策のために、知つてゐる人々から投げられた惡罵と、嘲笑をあびて、ある日つひに人妻としての一歩を踏んだのであつた。

しかも、私は、結婚調度として、九年足の立たない祖父と胃病を三十年持病としての祖母、白痴に近いまでに氣のよはい妹と、反抗心のつよい幼い妹とを持つた。

それは私のこの世に持つ全財産であつた。あゝそれに結核に虫ばまれた右肺とを。

× × ×

北向の四疊半一間、月六圓の借賃ときめて住みなれた家を出る日であつた。

結婚以來一枚の着物をもこしらへてもらはなかつたから、私の荷物はかるい。

この足かけ四ケ年の間に、祖父をも祖母をも亡くしてしまつた。妹の中の一人も死んだ。たつた一人殘つた妹は、その頃漸く東京へかへつて、若い第三の母をもつた父の家へ引とられた。そして、私は、一人の子の母になつた。あゝ、何とそれは休みのない悲しみと、新しい悦びとの交さくであつたらう。

そして最も不幸なことは、私のからだが、生活に堪えないまでに病に痛められたことだ。

姑と、小姑とは、私を出すことを半年の間主張した。夫は毎日、會社からかへると 姑の部屋へ行つて、如何にして私を出すべきかについて相談した。

再び、私は最後の決斷へ急ぐべき時が來たのだ。

私は、死をかけて、漸く生んだ我子を抱きいく度か親子心中の悲劇を胸にえがいた。

あゝ且て、私はあのようにも、純潔といふものを大切にしてゐた。併し、それは私の結婚生活にとつて、一體、何程のいゝねうちがあつたのであらう。

起きて、嫁として働くか。

それとも、出てゆくか、こゝの家では役に立たない嫁をいつまでもおいておくわけにはゆかないから……再び私にこの決斷がせまられたのだ。

そして、勞働に堪えない私は、働いて死ぬよりは、出されて生きてゐる後の方を撰んだ。

生きてゐたならば又いつか、めぐり合ふ日も來るであらう

『では、御ひまを頂きます、私はどんなになつてもかまひませんからどうか、坊やを大事にしてやつて下さい』

『うるさい！、ぐづぐづ云はずに出て行つたらいゝだらう、さあ、これだけやるよ』

投げられた一圓札一枚、私はギプスコルセットの重いからだを、わづかな荷物と共に車にのせて、四疊半の部屋にはこ

んだ。冷たい二月の雨がふつてゐた。そして車賃は一圓であつた。

『あの人何か落度があるらしいわ、でなきあね、あんなになつて出るわけはないわ』

昨日にかはる近所となりの悪口。

かくて一生にたゞ一度の私の結婚生活は、終末を告げたのである。

私はいま、二十六歳の不治の病體をよこたへ、何に人生の希望をつなぐべきであらうか。

出で、別れて、顔も知らない坊やの成長にか。心おきなく進み得る藝術の道にか。

今――そして今より後、再び私のような不幸な女のないように、婦人としての權利主張にか。あゝそれとも・・・・

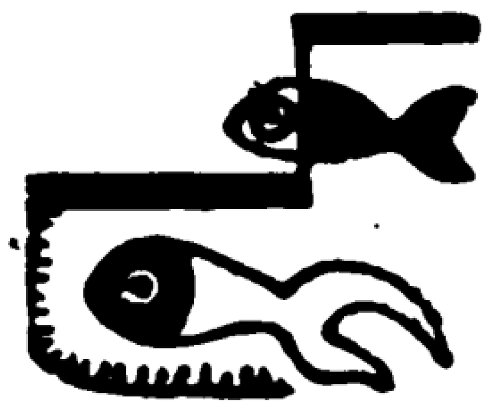
そのいづれであるかを私は知らない、併し少くとも私は、絶望の底に燃え上る、生くる日への新しい火を、把握すべき時の來たことを知るのだ。

◇實話募集◇

婦人問題實話を募ります。いきた生活記録を、どしどしお送り下さい。

一、長さ　四百字詰原稿紙　七枚以内

締切十一月十日迄。掲載の分薄謝を呈す。



萬女鑑

十一月（霜月）

日曜　三日、十日　十七日、廿四日

祝祭日　三日　明治節　廿三日　新嘗祭

×

はら〳〵と今のは　たしか時雨かな　歩柳女

×

四具體零　曉月夜　紐不解　戀君跡　居益物

×

これからの夜ながには、電燈も心づかひ一つで壽命が随分ちがひます。第一消す時球を廻して消す事は大變經濟の様に思はれてゐますが、本當は電球を早く損ひます。なぜといへば電流が球から断絶する時の抵抗がかうすると強くなる故、球の根元とソケットの中にさし込んであるコードの先端との間に猛烈なスパークが起るからです。又、コードは決して直接に金釘にかけないで必ず別な紐でゆはへておかけなさい。コードといふものは、極く細い針金を澤山あつめて上から被ひになるものがかけてあるのですから、この被覆に傷がつくと漏電の危險があります。

一つの電氣が暗くなつたり明るくなつたり息をする時には、その電燈のコードの途中か、コードと引込線の接續線に故障があるのですし、家中のがそんな工合の時は、引込線か安全器に故障があるのですから早速會社にしらせてなほして貰ふ事です

電球の硝子の薄黒くなつたのは電流ばかり要つて損ですからとりかへる事。燭光のわりにばかに明るい時は線の切れる前兆

一番あぶないのはぬれ手でコードをつかむ事。

•

光からいへば眼の爲に適當な燭光は、四疊半が十六乃至二十四燭光（二十ワットから三十ワット）、六疊で廿四か卅二燭光（三十から四十ワット）、八疊が廿二から五十燭光（四十ワットから六十ワット）。

×

毛糸は今年は安いやうですが毛糸だけは國産品といふ譯にゆかず、日本で染めたのも余り面白くないやうです。どうせ毛糸編物は實用品故、これ位は、舶來の質も染もいゝものを上手にお買ひになるがいゝでせう。

スエター、肩掛、子供服、帽子、靴下にはスコッチか、クロスプレットを、クロスプレットは、スコッチとメリノの中間、メリノはやはらかで細く肌衣や装飾品向の上物です。それから用量は、赤ちゃんのケープが一〇から一二オンス。四才位で八—一〇オンス、チョッキが七八才で八—一〇オンス、十一二才で一〇—一二オンス、大人用一二—一四オンス。

スエターで五六才が一〇—一二オンス、あとは年を一つ加へるに從ひ一オンスを増す程度、大人で一六—一八オンス。

帽子が赤ちやんで二—三、三四才が三—四オンス、五六才で四—五オンス。

×

鏡臺の前に、かしこい主婦は具へおくべし。キルクの粉……空瓶の口栓のキルクを焼いて粉にしておく。用ひる時は筆に充分にふくませ、眉毛の中程から終りに向つて描くこと。眉頭は筆に黛の薄くなつた所でやる。

×

牛衿五訓。

一、總じて半衿は無地の方が、着る人の顔も着物もひきたてる。殊に模樣もの丶時は心を用ひよ。

二、着物より濃い色の半衿は使ふ人によつて下品になる。

三、大體に於て帶か帶〆、羽織の紐と履物の緒は同色に。

四、模樣は季節にあはせよ、又買ふ時に余り季節的のものはさけよ。

五、レイヨンその他安物の半衿はなるべく買ふな。よい品なら色揚が何度も利く。

×

お母さんは鼻のかみ方を冬の初によくお子さんに敎へて下さい。西洋では子供時代にきびしく躾けられるのです。

鼻は決して兩手でおさへてかまぬ事。こうすると空氣の出どこがない爲、空氣が耳の方へ出て行くので、その時鼻汁も入り中耳炎その他耳の病氣をおこすからです。病氣にならないでも聽力が弱くなりますよ。

片一方抑へてかみ、次にもう片一方といふ風に。ズルリと吸つてのみこむなんて以ての外です

×

冬分凍傷の出來る方は、早くから皮膚の抵抗力を作つておかねばなりません。水の洗顔を續ける事、そのあとをガーゼ手拭か掌にクリームを少しつけて顔をマッサする事。油性クリームをたやさずつけておく事、一方内臓の健康に注意する事。

×

支那料理の五味の調和といふ事は大變理にかなつてゐますがこれによれば秋は胃のゆるむ時故辛味で刺戟し、冬は體温を得る爲に鹽分を多く配合するとよいとされてゐます。ほんの匙加減、味かげん。

×

冬に向ふと肉が賞味され、昨今は消化のいい豚の方が安値で喜ばれるのはよい傾向。ところで油のない所が上等だなどゝどうか赤いのはお買ひにならないで、三枚肉や七段肉といふ赤白段々になつた所をおつかひなさいませ。肉だけにしても白つぽい薄桃いろほどいゝのです。脂で白い所はとても煮れば煮るほどおいしいので、もし煮て脂がとけてなくなるやうでは、粗惡な飼料で育つた豚です。それともう一つ必ず買ふ時には大切りのまゝ御買ひになる事、いくら夫婦さし向ひの小人數でも、豚は大きいまゝゆでておけば數日間大丈夫もちますから。

×

これから出盛る大根のおいしい食べ方一つ御紹介します。これは風變りな朝鮮風の料理。皆で鍋をかこんで召し上れ。まづ太い素性のよい大根を擣み、千六本に刻み鉢に入れ、三盆白少しふりかけておくと、大根の汁が出て大根自身がしなやかになります。別に牛のひき肉に唐辛子五六本種をぬき小口より刻んだものと、普通の刻み葱を少々と別器に入れ、醤油をひた〳〵に加へよくかきまぜ、ならしておきます。もし松茸があれば適宜に切つておきます。

さて普通の鋤焼鍋を火にかけ大根を敷き入れ、煮上つて來た時先きの肉を箸で丸めてつみ入れ、共に煮乍らたべるのです、醤油は適宜御加への事。松茸の代りに椎茸を刻んだものを同時に煮ても美味です。何しろ大根の甘味が出て、普通の牛鍋よりずつとあつさりしたおいしい料理です。



サフラジエト (The Suffragette) (一)

シルビイア、パンカースト著
藤田たき譯

シルビア、パンカーストは、英國に於ける武力的婦人參政權運動者として有名であつたパンカースト夫人の二女で、母及姉のクリスタベルと共に活動した。

本書は一九一一年に發行されたもので、一九〇五年から一九一〇年までの間に於ける同氏等の活動の手記ともいふべきものである。

サクラジエト(Suffragette)とは武力的婦人參政權運動者の意味で、從來の穩健な婦人參政權運動者サフラジスト(Suffragist)と區別する爲めに新造された言葉である。

同運動の大體を讀者にお知らせする爲め右著書中興味ある部分を翻譯して今後數回連續揭載する積りである。

パンカースト夫人は昨年、男女平等の婦人參政權の實現をみないで逝去したが、クリスタベルもシルビアもまだ健在である。シルビアは今は共産主義者で第四インターナショナルの提唱をしてゐる。

(譯者記)

婦人社會政治同盟の創立より一九〇五年夏に至る迄の活動

一

婦人社會政治同盟(The Women's Social and Political Union)の創立者である私の母は、少女時代から既に初代改革運動の話に胸を躍らせ、强い感銘を受けてゐた。世の常の小兒のまだいろはのいの字も解せぬいたいけな頃から、父ロバート・ゴールデンは朝飯の時、必ず此の娘に聲高く新聞を朗讀させたものであつた。實にかやうにして、彼女の飽く事を知らぬ政治的興味が二葉の中に培はれたのである。

普佛戰爭のほとぼりも未だ冷めきらぬ頃、早くもロバートゴールデンは十三歳の娘をパリーの師範學校へ入學せしめた彼女のルームメートの、ノエミ・ロシュフオートは英國から來

た此少女に、父アンリー・ロシユフオートの數奇な運命に就いて數々の物語をした。感じやすい少女エメリン・ゴールデンは早くも熱心な共和論者となつてしまつた。彼女は自分の誕生日がバスティユの陷落の日に當るを無上の光榮とし、自分の祖母が政治にあかるく且つ又反穀物條令會の最初の會員であり、而して彼女の祖父がピタールーの戰役に危く一命を失ふ處であつた事を無上の誇とした。

十七歲のエメリン・ゴールデンは歸國後母を助けて八人の弟妹の世話に全力を盡し、二十一歲にして早くもかなりな年長者であり、旣に名聲嘖々たりしドクトル・リチヤードパンカーストの妻となつた。

ドクトルパンカーストは、マンチエスター婦人參政權獲得委員會創立者の一人であり、又旣婚婦人財產所有權獲得委員會の主要人物でもあつた。而して間もなく母ミセスパンカーストも夫と共に之等委員會に活躍するやうになつた事は勿論である。

一八八九年中、父と母とは婦人參政同盟の誕生の爲に非常に努力した。當時九歲であつた姉クリスタベルも、未だ僅に七歲であつた自分も此仕事に大いなる興味を覺え、小さいながらも或はおぼつかない手で廣告をかき、或はビラを配つて手傳つたものである。しかし殘念な事には資金不足と手不足の爲、この婦人參政同盟は間もなく解散を餘儀なくさせられた。之よりさき母は、婦人自由黨聯盟が婦人の爲政治的經濟的不平等を取り去り、婦人の地位向上の爲につくす處あるべきを信じ、其の會員となつてゐた。しかし同聯盟がたゞ自由黨――婦人の入黨を許さず婦人に發言權すら與へぬ――の勢力助長の爲の傀儡なるを知つて斷然脫會し、一八九四年ドクトル・パンカーストと共に自由黨、保守黨とその立場を異にし、男子と同一條件をもつて女子の入黨を許す獨立勞働黨の會員となつた。

一八九八年ドクトルパンカースト他界後數年間、母は政界より退きたゞマンチエスター學務委員として盡力したのみであつた。しかし一九〇一年姉クリスタベルはミスローパー、ミスゴア・ブース並びにミセスデイキンソンによつて組織された織物女工間の參政權宣傳戰に熱中した。彼女はまたマンチエスター婦人參政權獲得委員會の委員に選擧せられた。かく運動をすゝむるに從ひて彼女は勞働運動の驚くべき發達とその力を知り、婦選は各種勞働組合の支持なくしては成功せぬをさとり、專ら組合員の間を遊說する事に努力を集中した。

□

我々は皆クリスタベルのこの仕事に非常な興味を覺えた。母の往年の熱はまた燃えて來た。ドクトル　パンカースト歿後彼女がなめた數々の悲しき經驗は彼女を一層熱心な婦人参政權論者たらしめ、同性の爲に参政權獲得の急務たるを感ぜしめた。彼女はたとへ他の凡てを放擲しなければならずともこの一は必ず成就させねばやまぬと云ひ、之こそは彼女の唯一の使命なる事を確信した。自由黨、保守黨の驥尾に附して婦選を得んと望むには、過去の歴史がその無益なるを余りに雄辯に物語つてゐる。女の爲の女の會の必要を母は痛切に知つてゐた。遂に一九〇三年十月十日檄を飛ばしてマンチエスターネルソン街の自宅に同志を集め、同日立ちどころに婦人社會政治同盟の創立を宣言した。當日馳せ参じた婦人の大部分は勞働運動關係者であつた。しかし最初から婦人社會政治同盟は階級黨派を超越したものである事が聲明された。「婦人に参政權」の呼び聲は婦人社會政治同盟の標語として大膽に叫ばれた。涙ぐましきその活躍は早くも報ひられたるが如く、一九〇四年獨立勞働黨年次總會は來るべき議會に女子に参政權附與の法案作成を可決した。

我々婦人社會政治同盟の會員は來るべき議會を一日千秋の思で待つてゐた、遂にその時は來た。當時サウスケンスイングトンの大學に籍を置いて居た私も、マンチエスターから遙々議會運動に出て來た母を助ける爲に學校は休む事にした。議會は愈々二月十三日召集された。我々は毎日議會に詰めかけた。而してうるさがる議員を廊下でつかまへては、婦選案上程の爲めの努力を依頼した。私は勿論此ロビーの運動が如何にむつかしいものであるかを覺悟してゐた。しかしこんなにまでつらいものであるとは思はなかつた。代議士等は異口同音に嘯いた。「私も勿論婦選には賛成です。御婦人も選擧權をもつべきです。」しかし一人として自ら婦選法案上程の爲、一臂の力を貸さうとするものはなかつた。

□

さりながら婦選法案は愈々五月十二日上程と決せられた。それまでに我々のするべき事は多々ある。我々は婦選法案賛成者の署名あつめに奔走する。他の多くの婦人團體も請願書提出に大童となつて活躍した。八年振りに婦選法案の下院に上程さるゝと云ふ事實は新生の喜を彼等凡てに味はしめたのである。我々共同の努力は空しからず、明けて五月十二日！

見渡せば議院控室は婦人傍聽者で溢れてゐる。婦人參政權團體の代表は云はずもがな。凡の階級を網羅する女群ー中にも人目を惹くはネリー・マーテル夫人に率ゐられた婦人勞働組合員の一隊である。マーテル夫人こそはオーストラリヤ婦人の爲選擧權獲得の夢を實現せしめた鬪將の一人であり、また濠州議會の逐鹿戰に二萬有餘の投票をかち得た婦人なのである。

早朝から議院に集つた之等婦人傍聽者はあはれにも婦選法案通過を信じきつてゐる。しかし我々の如く婦選反對者の如何に頑迷なるかを知り、また英國議事法の如何に缺陷多く、僅かに數名の反對者が引き伸し政策によつて婦選法案上程を阻む事の容易なるかを知り過ぎてゐる者には、之等婦人等の喜びが踏みにじらるゝのをおそれて、不安に戰くのであつた。

その日の第一議案は殆んど議論の餘地もない極めて簡單な問題であつた。即ち夜間道路を通行する車は前後に燈を點ずべしと云ふ要旨のものである。我々は今日に至るに先だち此第一議案後まはしの爲に努力した。提案者にも撤回を依賴し保守黨内閣にも婦選案の速かなる審議の便宜を與へられん事を歎願した。然し一票の權利さへない我々の要求に誰が本氣に耳を傾けやう。でも我々は決して絶望はしない。今代議士等が談笑の中に車の燈について悠長に議をすゝめてゐるを見て、パンカースト夫人は直ちにバルフオア氏に抗議を申込んだ。「若しも政府が婦選案の速なる上程の爲奔走しないならば次回の總選擧に於いて婦人社會政治同盟は政府に對し猛烈なる攻擊の態度を採るであらふ」と。然しこのおどしにも何等の手ごたへはない。車の燈の件は相變らず議せられる。十二時から四時までも。而して我等の婦選法案の爲には僅かに三十分殘されたのみ！しかも此貴重なる三十分を無責任な高笑に費されんとは！

嬉しい期待に醉つてゐた婦人等の顏は刻一刻に變つて來る興奮は波のやうに寄せて來る。怒に上せあがつた赤い顏、蒼白の額、而して目に淚を一つぱい浮べてゐるものもある。殊に勞働組合員等の怒は烈しい。彼女等は他の婦人にもまさつて男子と肩を並べて對等に働く事の出來る機會を、一日千秋の思を以つて待ち詫びてゐたのだ。代議士等の投げかけたこの侮辱に對して何とかせねば腹が癒えぬ。

傍聽席の一人の男が突然立ち上つた。婦選法案審議の不眞面目さをたしなめた。婦人傍聽者は之に感激した。此のヒローを取り圍んで感謝した。彼が職をはなれた靴直しであり、

而して彼が婦選案の同情者ではなく、餓死せんとする失業者の救濟には時間なしとて一顧をも與へず、高笑ひに冗談に時間を空費する代議士に立腹しての發言とは彼女等はずつと後になつて知つたのである。

□

母は議事堂前で彈該演說會を開く事を提議した。婦選運動の元老ミセス・ウオルマンホルム・エルミー夫人は口を開いた。女等は一語も聞き洩らすまじと犇々と詰めよつた。しかし直に警官は退散を命じた。我々は退いて上院前のリチャード一世の像の下に集る。然しながらまた追はれる。警官等の群に我等は漸くウエストミンスター寺院前に於いて、僅に數名の反對者が衆望を擔へる婦選法案の審議を不可能ならしめ得る議事法の缺陷を指摘し、政府に速かなる婦選法の實施要求の決議をつきつけた。而して若し政府が我々の期待に背く時、恐ろしき復讐を誓つて解散した。

或六月の日曜の事であつた。ミセス パンカーストはオルダム獨立勞働黨主催の演說會に出席した。而して實にその日の男女職工合唱隊の中に、後年我々の參政權運動の猛將アニーケニーがまぢつてゐたのである。

アニーケニーはオルダムより程遠からぬリー市に貧しい一職工の娘として生れた。而して、彼女の母も亦生計の爲一女工として働いてゐたのである。否いたいけなアニーさへ下げ髮をショールにつゝんで半日は工場へ、殘る半日は町の學校へと通つたのである。十三の時彼女の學校教育は終つてしまつた。而して彼女は午前六時より午後六時までの長い一日を冷い工場で働かねばならなかつた。

小供時代のこの苦しい勞働は消す事の出來ない燒印を彼女の上に殘した。彼女の顏にはどこか銳さがあつた。早くも深い皺が刻まれてゐた。すみ切つた青い大きな目――素晴らしい事件にぶつかつた時、太陽の光に躍る噴水のやうにか[illegible]くあの目も、常は苦痛と不安と云ひ知れぬなやみをこゝ[illegible]くを見つめてゐるのである。

一九〇八年獨逸に於ける婦人大會に於いて、アニー[illegible]は次の如く述べてゐる。「私は勞働階級婦人の苦痛を目[illegible]り見せつけられて育つたものだ。私は工場に於いて男[illegible]庭でもこの男女間の不平等を見せつけられた。私は男も女も不平等を目擊した、待遇の相異、賃銀の大きな隔りを、[illegible]少年も少女も皆一様に一日中暑い工場で汗みづくになつて働いてゐるのも見た。然し一日の仕事の終る時走るやうに家に

歸るのは女である。託兒所にまづ子供を迎へに走るのも女である。夫の爲お茶の用意をするのも女である。掃除も料理も裁縫も一として女の仕事でないのはない。夫が家に歸る時彼の一日の仕事は既にすむのだ。お茶を飮んでクラブへ出掛ければそれでいゝのだ。私はいつも獨りで考へた。何故私の母は家庭の奴隷であつて、父の話相手でもなく、父の同輩でもないのであらふかと。」

アニーケニーを得た私等は勵まされ力づけられ町から町へ一九〇五年の夏を婦選の宣傳に、政治敎育に、苦しい巡禮を續けたのである。(續く)

會報をお頒ちします

婦選獲得同盟の活動狀態を如實に報導した會報菊倍版四頁がこの十一月から毎月發行されるやうになりました。これは會員のみに配布するものですが、研究資料として御希望の方々も相當多いので次のやうに規定して特にお頒ちしたいと思ひます。

一ケ年　金一圓　(郵税共)

一部　金十錢　(送料二錢)(切手代用一割增)

爲替なり小爲替にて、婦選獲得同盟會報係宛御申込下されば、すぐお送りいたします。



新生への道

（連作小說）

生田花世

第一回

たゞ暗い波の外には左の方はるかに燈臺の火がともつては消え、又ともつては消えてゐるばかり、次第に東の空のあからみのきざしそめてゐる午前四時すぎの『菊丸』の甲板で、藤子はぢつといつまでも〳〵たちすくんでゐた。そして、もう東京に入るのも間もないのだと考へると、彼女の胸は丁度舷側にくだくる波のやうに搖れうごき、膨れてみたり凹ぼんでみたりする感情の波を心にわきたゝせずには居られなかつた。

ふと氣がつくと沖のかなたこなたに次第々々に目についてくる黒い船のかげがあつた。それらの船は發動機船なので、にぶい低い音をとほくこちらの方におくつてくる。一つのその船が、船尾から綱で繋いで引いてくる小舟が、四艘のもあれば三艘のもあり、時には七艘位引いてゐるのもあつた。

丁度親がその妻子を引きつれてこの世の荒波の中をわたつてゆくそれのやうにそのましぐらに同方向へつながつてゆく有様が……そして又、それが一様に明け方の東京灣に入つてゆくのだとおもへる有樣がなほもぢつと甲板から海を見つめ

てゐる藤子の心をほろ悲しく誘つた。

『でも私はやれるだけやつて見るわ！』

おもはず藤子はかう呟いた。彼女は丁度自分の目の前にあの伯母のお徳が居りでもするかのやうに呟きつゞけた。

『女だつて、やつて見ようと思へば何だつてやれさうにおもへるわ。出來ないなんてことは運がわるいか、さもなくば、身體がよわいか、努力が足りないか、どちらかですわ。だつて、何だつて、爲て見ないで分るもんですか……』

この『爲て見ないで分るもんですか』といふ言葉は、彼女がこんどかうして上京の決心をつけて、母なり、叔父叔母なりをときふせて、とう／＼同意させるまでにしたその間何度くりかへし云つて見たか分らない言葉だつた。

藤子は大島の元村の生れであつたが、十五の時から東京へ出て、小石川の順應女學校へ入學して、そこで女學校の全課程を終つたのは去年の春だつた。そのまゝ東京にゐて、何か職業を求めて働いて見たいといふのぞみを勝氣な彼女はつよく胸に抱いてゐたのではあつたが、この數年來父が病氣勝ちだから是非歸つてくるやうにと云はれて、別に、それでも強いて、今たゞちに職業婦人にならなくてはならないといふ身分でもなかつたし、一年位は、島で、あのなつかしい故郷の島でゆつくり身をやすめて見たいといふ氣持にもなれたので、その時には、快く承知をして、卒業證書とともに、學校から解放された十九歳の春を、島の方へとうつしたのであつた。それから今日までの間、この十六ケ月ばかりの間に彼女の心は何といつても、もう昔のやうに單純ではあり得なかつた。學生時代に時々島へ歸つて來てみてゐた島の生活は美しい甘い詩であり、夢であつた。赤い椿の花さく島の乙女よと、それに好もしく醉つて見られるセンチメンタルな、又、ロマンチックな心持が、こゝの椿林やかしこの樫の木かげなどの幼い時の思ひ出とむすびついて、この人生を美しい幻と思ひ做さるゝ心があつたが、今ではそんな考へは、風船玉のやうに破れて了つたのである。

ある日彼女の父が、彼女には秘密にしてゐたことを話し出した。それによると、彼女はもうよほど前から、――女學校へ入學した時分のころから、差木地村の大村といふ家の次男で、東京では芝の方の中學校で勉强してゐる弘といふ靑年と婚約の仲になつてゐるといふことであつた。

この弘といふ名をきいただけで、藤子は、身體中ゾクリとするやうないやさ、いとはしさにとらはれて了つた。彼女は弘を知つてゐた。それは自分の家と弘の家とは同じ椿油の商賣上の、かれこれの取引があり、こちらの家が、むかうの家に、長い間、世話をうけて來てゐる間柄であるので、父の用事で差木地村へ行つて、弘と一緒に、そこの松林の中の道で駈けつくらをしてみたこともあり、又、弘が中學生となり、彼女が女學生となつて、ともに東京へ遊學するやうになつて、船をともにしたことも度々あるのである。

幼い時のことを思へば、さしていとはしくもないはづの弘ではあつたが、それを夫にして見ようとはかけても思つてみたことのなかつた彼女であつた。ことに最近の弘を知つてゐる彼女は、考へただけでも、自分の名と彼の名をそろへて考へてみただけでもいやでならないだけの十分の理由をもつてゐた。

藤子は弘が、東京で、どんなことをしてゐるかといふことをあらかた知つてゐた。中學の三年位で、弘の、學校へかよはないで、カフエーやレストランにあそんでゐるといふ噂がきこえ出した。そして此頃では、東京でその居所さへきまつてはゐない、かげには、かくれた女があるらしいといふ風な事さへも、うす／＼友達から聞き知つてゐる彼女は、父のこの折り入つての話に對して、たゞ當惑するより外はなかつた。

婚約なんて、そんなことはもう古い時代のことで、今の世の中に通用することではないと、父にくりかへしくりかへし話をすると、それのわからない父ではなかつたが、ふいと寂しい吐息をして、暗くうつむきこんでやがては、ごろりと横になり、やせた顔に更にみじめな苦惱の皺をたゝへた父のその有樣は、彼女の心を壓迫するやうなものがあつた。

『それちや…さうしますわ』
と云つて了ひたいが、さてさういへない現代の女の教養が彼女の口をひきしめさせて了つたのであつた。
藤子は、自分にやさしい叔母のところへ行つて、自分の氣持を十分に話して、何はとまれ島にゐては弘の家からの懇望も早まりさうなので、父も今が今といふわけではないといふことをいひ立てゝ、ひたすら東京へ出ることを主張したのである。
船にのりこむとき母なり叔母なりが氣づかはしげに弱い言葉をかけた時に彼女はいつた。
『でも、私、やれるだけやつて見るわ！』
この言葉の中には彼女を鼓舞するものがあつた。
『つまらない結婚の犠牲にはなりたくないのですもの…』
いつしか明るい朝の光の中で菊丸は、靈岸島についてゐた。東京の土をふまうとする彼女の足は桟橋を渡つて行く。

編者より……連作小説はもう舊い、といはれさうですが、大に期する所あつての企て故、見てゐていたゞきたいと思ひます。お願ひした方々も、私共の心持を汲んで下さり、乗氣で執筆してゐて下さいます。

次回執筆者……中本たか子氏

編輯餘錄

いよ／＼新『婦選』が出るとなる迄が一骨折、出る事に決定してからは二骨も三骨も折つてまだ足りない。余り欲ばつては反つていけないと精々はやる心をお互に抑へ／＼て、とにかく一號の編輯を濟ませた勿論十分ではない事は重々承知であるが、舊『婦選』に比べて、考へて欲しい。とにかく企てはこれからだ。

悠りしたやうでも六十四頁？あれもこれも載せたいものばかり、はみ出して次號に廻つた物も二十頁近くある。とにかくこゝ暫らくは本號の調子で、編輯する積である主張、公開狀、時事解説、何れも本誌獨特の平易で徹底を旨とする。二頁や一頁の小記事も皆力の入つたものだ。

森鐐子氏の時事漫畫、毎號御愛讀を乞ふ婦選の生んだ閨秀漫畫家として大に賣出させて欲しい。カットや表紙も一切同氏を煩はした。翻譯には多忙な藤田氏を煩はしてこれも思ひ通りに運ぶ事が出來たし、小説欄は生田花世氏の一方ならぬ御厚意で計劃通りに進められる。來月は新進の中本氏がもはや執筆中である。この方達のやうな援助で婦選は實際生きる事が出來る。どうか愛讀者の方々にも喜んでいたゞきたい。

誌友の會合をぜひ毎月やれといつて下さる方が多い。ぜひ開きたいと思ふ。御正月あたりから實行する積である。

それにしてもどうか年極讀者になつていたゞきたい。挿入の振替用紙を利用してほしい。（しげり）

季節柄、娘を嫁にやる母親の氣持か。余錄を書く段取になつて嬉しくもあり、世評が氣にもなる。どんな恐しげな娘かと、思違ひされてる向も、萬女鑑などといふ嫁入寶典まで持參する用意周到さに、面喰はないだらうか。（鐐）

まあ、半反もあつたら大てい良いだらうと思つたのが、着せてみるとまだツンツルテン。仕様がないなあとつぶやきながら、がまんしました。變なもので世間並の雑誌の型になると今まで素通りした本屋の前も一寸立止つて、表紙、目次、内容の體裁と一ばし玄人顔して眺めたりする様になりました。（こ）

本誌定價

▽一部 金二十錢（郵税二錢）
▽半年分 金一圓二十錢（税共）
▽一年分 金二圓四十錢（税共）
誌代は前金で拂込は振替が御便利です、切手代用は一割増に願ひます

廣告料

廣告御希望の方は御一報次第、料金その他御通知いたします。

昭和四年十月二十九日印刷納本
昭和四年十一月一日發行

編輯、印刷兼發行人 市川房枝
東京市芝區南佐久間町一ノ一
印刷所 研文社印刷所
東京市麴町區麴町四ノ五
發行所 婦選獲得同盟
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

婦選の發展を祝す

東京市麹町區四番町十四
三輪田繁子

東京市四谷區南伊賀町三四
婦人共同會 大和俊子
電話四谷三二二五

東京市麹町區五番町十六
星野愛子

東京市麹町區五番町十六
藤田たき

横濱市根岸町二三九一
安藤政子

群馬縣山田郡福岡村
八木橋きい

東京市麻生區龍土町七四
大橋豊喜

東京市赤坂區青山高樹町十四
高野溪子

名古屋市東區大曾根町一二六
八木恭子

東京府下代々幡町代々木二四九
小森ハナ

東京市本所區太平小學校
井上たみ

東京市小石川區音羽町七ノ一〇
鳩山春子

東京市小石川區音羽町七ノ一〇
鳩山薫子

東京府下大崎町白金猿町九四
武田睦子

東京市四谷區北伊賀町四三
鹽原靜

東京府下代々幡町代々木一六六
文華高女學塾 斯波安

東京市京橋區入舟町四ノ五
橋本假子

東京市四谷區荒木町二七
市川いし

東京市四谷區仲町三ノ四六
市川房枝

東京市四谷區仲町三ノ四六
金子茂

婦選の發展を祝す

東京市丸ノ内一ノ一
帝國生命館
鈴木小松

東京市牛込區下宮比町四
吉岡彌生

東京府下戸塚町字戸塚
一〇六五
永井次代

新潟市西堀通三番町
小出チカ子

東京府下世田ヶ谷町
下北澤八四八
中澤美代

大阪市北區中之島六丁目
大阪婦人ホーム
林歌子
電話土佐堀九九〇

東京府下戸塚町八四五
ガントレット恒子

東京市牛込區若松町一二五
秋山花子

東京府下代々幡町笹塚
一〇七六
久布白落實

東京市麹町區三番町五一
河崎なつ

東京府下大久保百人町
三六〇
千本木みち子

東京府入新井町不入斗
七二六
坂本眞琴

東京市四谷區三光町一
竹内茂代

東京府下瀧ノ川町瀧ノ川
一七五二
田中芳子

東京府下東大久保四八九
山本杉

東京市四谷區旭町五十八
藤間あさよ

東京市小石川區大塚仲町
二六
渡邊とめ

東京府下澁谷町羽澤九二
石本靜枝

廣島縣呉市長木町
武田清

兵庫縣武庫郡芦屋大桝
新妻伊都子

内科
外科
産科
婦人科

池袋病院

院長 醫學博士 伊東常太郎
醫學博士 江守彌次郎
醫學士 末吉彌吉

省線 東京池袋驛東口東（改正道路）
市電 大塚辻町下車池袋驛行乘合自動車病院前下車

電話大塚 一〇五三番 一一六七七番

産婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

診察 毎日
宅診午前
往診午後

院長 吉岡彌生
副院長 吉岡房子

東京市牛込區下宮比町四

東京至誠病院

電話牛込三五五番

産科婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

宅診午前
往診午後

院長 竹内茂代

四谷區三光町一

樹徳堂
井出醫院

電話四谷一四六〇番

婦人之友社出版部

東京雑司ケ谷
振替東京壹壹六〇〇

◇昭和五年度日記類◇

家計簿 定價・七〇 送料・〇八

この家計簿を用ひれば、豫算超過の心配がなくひとりでに貯金が出來ます。新しい一年間を最も健全に、經濟的におくるために、ぜひこの一册をお備へ下さい。

主婦日記 定價・七〇 送料・〇六

ありふれた日記と違ひ、巧みな家事の豫定表で、同時に主婦のよい備忘錄です。

家計當座帳 定價・三〇 送料・〇四

毎日の支拂ひにも、買物に出る時にも、これを使へば便利です。家計簿と御併用下さい。

少年日記 定價・五〇 送料・〇六

子供の思考力を助け、高尚な感情を養ふために種々の工夫をしてあります。

少女日記 定價・五〇 送料・〇六

生活を正しくし、勉强と遊びを適當に樂しむやうに生活表を利用してあります。附錄には小遣帳もつけてあります。

◇世界文學物語叢書◇
定價各册一圓五十錢送料十錢

□第一篇 ダンテ・アリゲエリ作 中山昌樹編著 ダンテ神曲物語
□第二篇 ジョン・ミルトン作 中山昌樹編著 ミルトン失樂園物語
□第三篇 ドストエーフスキイ作 米川正夫編著 カラマーゾフ兄弟物語
□第四篇 ロマン・ローラン作 楠山正雄編著 ジヤン・クリストフ物語
□第五篇 シエークスピア作 横山有策編著 ハムレット物語 マクベス物語
□第六篇 楠山正雄編 近代劇物語

◇婦人之友料理叢書◇
定價各册一圓送料八錢

□第一篇 趣味と實用の日本料理
□第二篇 家庭で出來る和洋菓子
□第三篇 素人に出來る支那料理
□第四篇 家庭向きフランス料理
□第五篇 四季の家庭料理

Vol. III, No. XI "FUSEN" Nov. 1929
Published monthly by The Woman's Suffrage League of Japan.

昭和四年十一月一日發行
發行所 東京 麹町、四ノ五 婦選獲得同盟

